

大分の畜産

2017

祝 第11回全国和牛能力共進会
内閣総理大臣賞受賞

牛は豊後が
日本一



平成29年度

大分県

目次

I 農業及び畜産の概要	
1. 農業の概要	1
2. 畜産の概要	3
II 家畜別の動き	
1. 肉用牛	4
2. 乳用牛	8
3. 豚	11
4. 採卵鶏	13
5. ブロイラー	15
6. 地鶏	17
7. 生産費と所得の推移	18
III 飼料	20
IV 家畜衛生・畜産環境	23
V 平成29年度大分県畜産関係補助事業等（抜粋）	25
資料1 畜産関係団体等一覧	29
資料2 畜産関係機関県組織機構	30
資料3 大分県の種雄牛	31
資料4 県内の主要なふれあい牧場	32
資料5 平成28年農林水産部 畜産振興課・畜産技術室の 主な出来事	35

I 農業及び畜産の概要

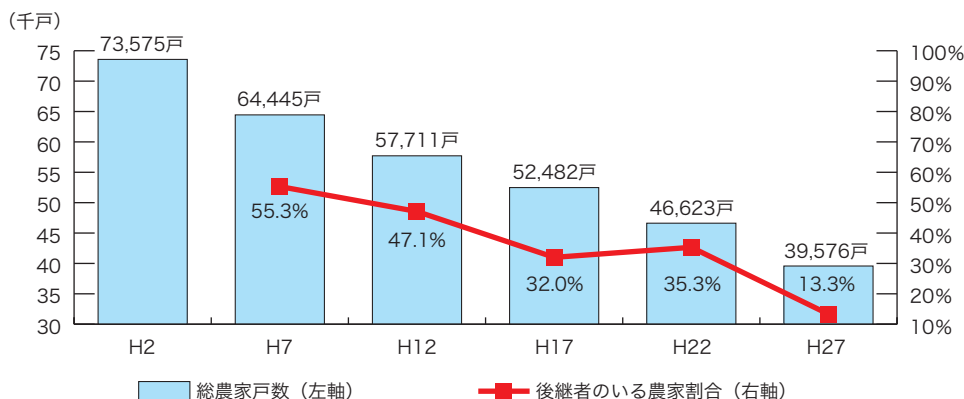
1. 農業の概要

(1) 本県農業の位置づけ

項目	単位	区分					資料
		大分県	九州	全国	大分/九州(%)	大分/全国(%)	
総農家戸数	戸	39,576	308,935	2,153,045	12.8	1.8	農林水産省「農林業センサス(平成27年)」
販売農家戸数	戸	24,294	199,094	1,326,755	12.2	1.8	
(構成比)	(%)	61.4	64.4	61.6	95.3	99.6	
農業就業人口	人	34,791	327,009	2,090,014	10.6	1.7	農林水産省「生産農業所得統計(平成27年)」
農業産出額	億円	1,287	17,541	88,631	7.3	1.5	
生産農業所得	億円	472	5,842	32,698	8.1	1.4	
生産農業所得÷農業産出額	(%)	36.7	33.3	36.9	110.1	99.4	
農業産出額÷総農家戸数	千円	3,252	5,678	4,117			
農業産出額÷販売農家戸数	千円	5,298	8,810	6,680			
耕地面積	ha	56,600	545,900	4,496,000	10.4	1.3	農林水産省「耕地及び作付面積統計(平成27年)」
田面積	ha	40,300	318,500	2,446,000	12.7	1.6	
(構成比)	(%)	71.2	58.3	54.4	122.1	130.9	
畑面積	ha	16,300	227,400	2,050,000	7.2	0.8	
(構成比)	(%)	28.8	41.7	45.6	69.1	63.2	
うち牧草地	ha	2,780	14,600	606,500	19.0	0.5	
(構成比)	(%)	4.9	2.7	13.5	181.5	36.3	

(注) 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家。
 農業就業人口：販売農家で、農家に常住し、しかも生活の本拠をそこに持つ世帯員のうち、調査期日前1年間に、「農業のみに従事した世帯員」及び「農業と兼業の双方に従事したが、農業の従事日数の方が多い世帯員」。
 生産農業所得：農業産出額から生産のために投入された物的経費を控除して推計したもの。

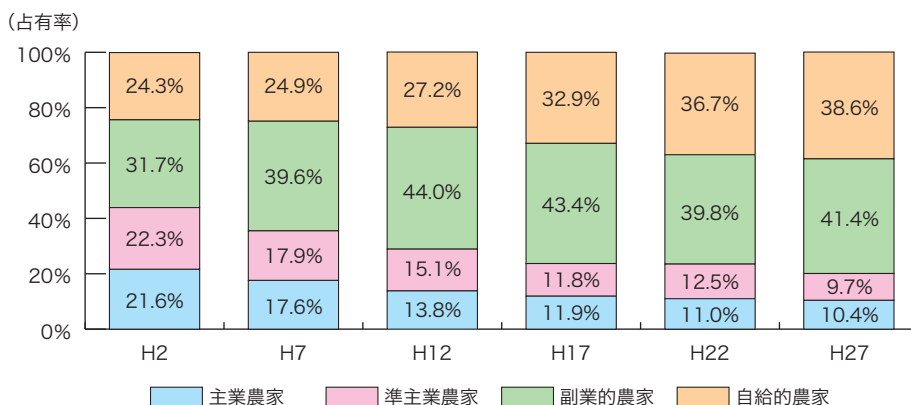
(2) 農家戸数の推移 (大分県)



農家戸数はH27年が39,576戸で、5年前に比べ15.1%減少した。後継者のいる農家割合はH27年が13.3%で、5年前の35.3%に比べ大幅に減少している。

資料：農林水産省「農林業センサス」

(3) 主業副業農家占有率の推移 (大分県)

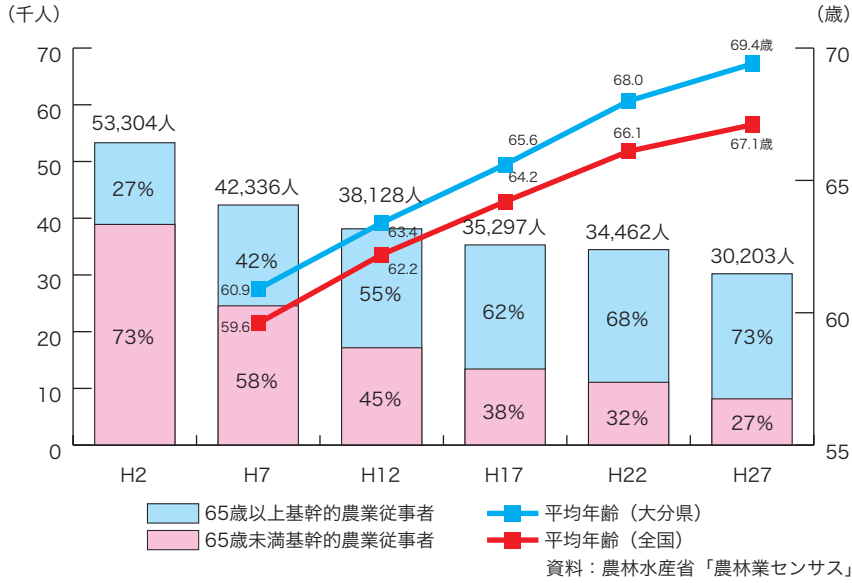


H27年の主業農家の割合は10.4%で、5年前に比べ0.6%減少した。農家戸数は5年前に比べ、15.1% (7,047戸) 減少したのに対し、主業農家戸数は20.2% (1,041戸) 減少した。

資料：農林水産省「農林業センサス」

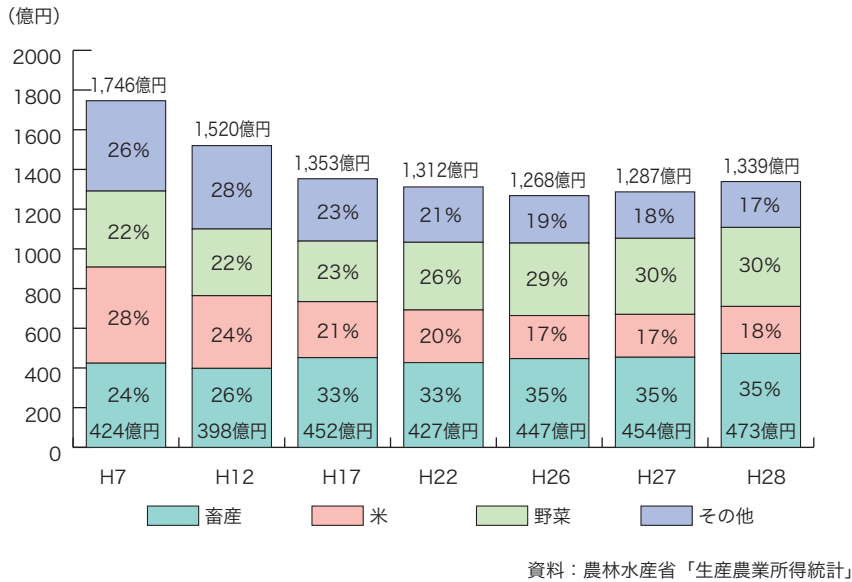
(注) 主業農家：販売農家のうち農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。
 準主業農家：販売農家のうち農外所得が主で65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。
 副業的農家：販売農家のうち65歳未満の農業従事60日以上の方がいない農家。（主業農家・準主業農家以外の農家）
 自給的農家：経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家。

(4) 農業労働力の推移（大分県）



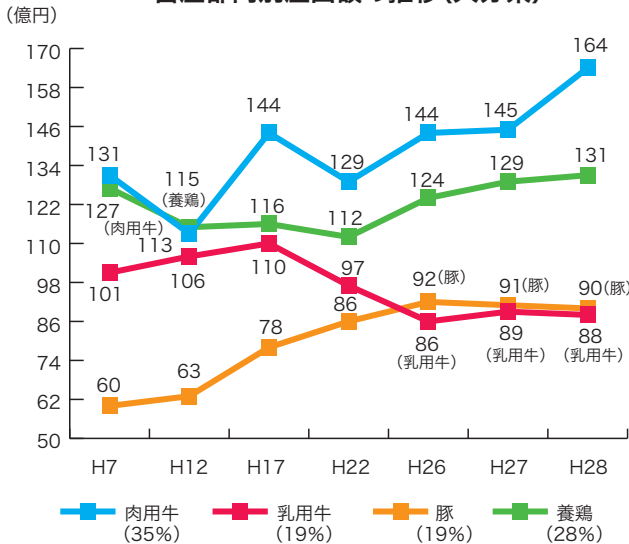
基幹的農業従事者数は、H27年の従事者数が30,203人で、5年前に比べ87.6%と、減少傾向が続いている。
 65歳未満従事者割合は、H27年が27.4%と5年前に比べ4.6ポイント(2,763人)減少した。
 平均年齢は、H27年が69.4歳であり、5年前に比べ1.4歳上昇している。
 (注) 基幹的農業従事者：農業に主として従事した世帯員（農業就業人口）のうち、調査日前1年間の普段の主な状態が「仕事に従事していた者」のこと。

(5) 農業産出額（大分県）

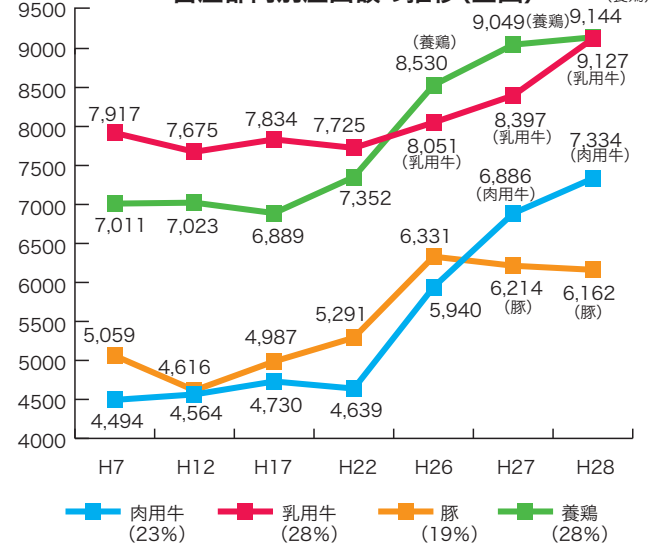


H28年の農業総産出額は1,339億円で前年に比べ52億円(4.0%)増加した。畜産は473億円で総産出額の35%を占め、前年に比べ19億円(4.2%)増加した。
 畜産の部門別産出額では、肉用牛が164億円(畜産に占める構成比35%)で、前年に比べ13.1%増加し、乳用牛は88億円(同19%)で1.1%減少した。豚は90億円(同19%)で1.1%減少し、養鶏は131億円(同28%)で1.6%増加した。

畜産部門別産出額の推移(大分県)



畜産部門別産出額の推移(全国)



2. 畜産の概要

(1) 家畜の飼養戸数・頭羽数（平成 29 年 2 月 1 日）

		大分県		九州			全国		
		実数	対前年比(%)	実数	対前年比(%)	順位	実数	対前年比(%)	順位
肉用牛	戸数	1,250	93.3	22,000	96.9	5	50,100	96.5	11
	頭数	47,300	98.7	889,700	100.7	6	2,499,000	100.8	16
	頭/戸	37.8	105.9	40.4	103.9	6	49.9	104.4	36
乳用牛	戸数	139	97.2	1,620	97.6	6	16,400	96.5	25
	頭数	12,300	95.3	107,000	97.1	5	1,323,000	98.4	17
	頭/戸	88.5	98.1	66.0	99.5	1	80.7	102.0	4
豚	戸数	50	100.0	1,470	96.7	6	4,670	96.7	25
	頭数	134,700	98.8	2,948,000	102.6	5	9,346,000	100.4	19
	頭/戸	2,694.0	98.8	2,005.4	106.1	1	2,001.3	103.8	9
採卵鶏	戸数	25	86.2	481	94.7	7	2,440	96.4	33
	千羽	1,285	87.4	24,122	102.9	6	178,900	101.8	30
	千羽/戸	51.4	101.3	50.1	108.7	3	73.3	105.6	26
ブロイラー	戸数	53	98.1	1,130	98.3	5	2,310	97.9	10
	千羽	2,290	98.2	67,408	100.1	6	134,923	100.4	13
	千羽/戸	43.2	100.1	59.7	101.9	6	58.4	102.6	18

(注) H27 年はセンサス実施年のため豚・鶏については未公表

(資料：農林水産省「畜産統計」)

①肉用牛

戸数、頭数ともに全国の上位に位置するが微減。1戸あたりの飼養規模は増加に転じ、全国36位(H28年36位)とH25年以降順位を落としていたが今年は横ばいとなった。

②乳用牛

飼養戸数、頭数ともに前年に比べ減少。1戸あたりの飼養頭数も前年比で1.9%減少したが、九州で1位、全国では4位の規模となっている。

③豚

飼養戸数は横ばい、頭数は前年に比べ減少した。1戸あたりの飼養頭数は減少したものの、九州1位、全国9位の規模となっている。

④採卵鶏

飼養戸数、羽数ともに前年に比べ減少した。1戸あたりの成鶏雌飼養羽数は前年比で7.7千羽/戸（1.3%）増えている。

⑤ブロイラー

飼養戸数、飼養羽数ともに前年に比べ減少した。1戸あたり飼養羽数はほぼ横ばいとなっている。

(2) 認定農業者数（畜産：平成 28 年 3 月末時点）

	県計	畜産単一経営小計					
		酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他	
認定農業者数	4,286	359	83	197	36	40	3
法人数	601	94	28	28	23	12	3
率	14.0%	26.2%	33.7%	14.2%	63.9%	30.0%	100.0%

(注) 「畜産単一経営」とは畜産関係販売金額が農産物総販売金額の80%以上を占める経営をいう

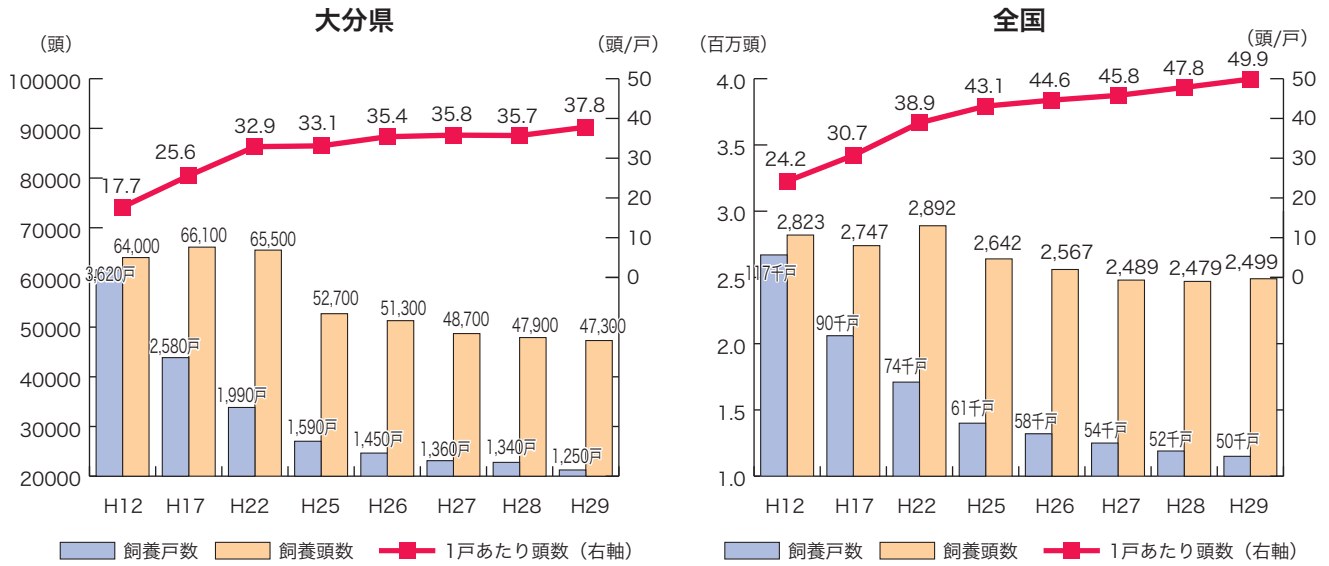
(資料：大分県)

畜産単一経営における認定農業者数は366戸で、法人化率は26.2%と県全体の法人化率14.0%を大きく上回っている。特に養豚の法人化率が高く、肉用牛は家族経営が中心ではあるものの、14.2%と県全体の法人化率と同等の水準となっている。

II 家畜別の動き

1. 肉用牛

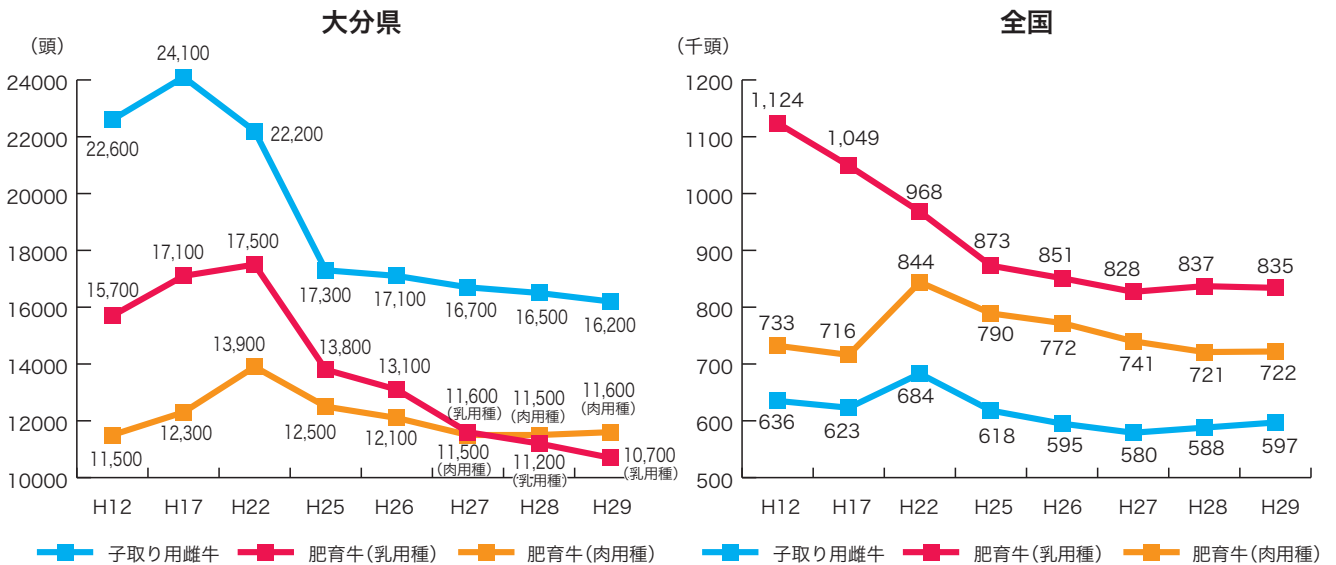
(1) 飼養戸数・頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

H29年2月1日現在の飼養戸数は1,250戸で前年に比べ90戸（6.7%）減少した。飼養頭数は47,300頭で、前年に比べ600頭減少した。
1戸あたりの飼養頭数は37.8頭と前年から増加している。

(2) 用途別頭数の推移

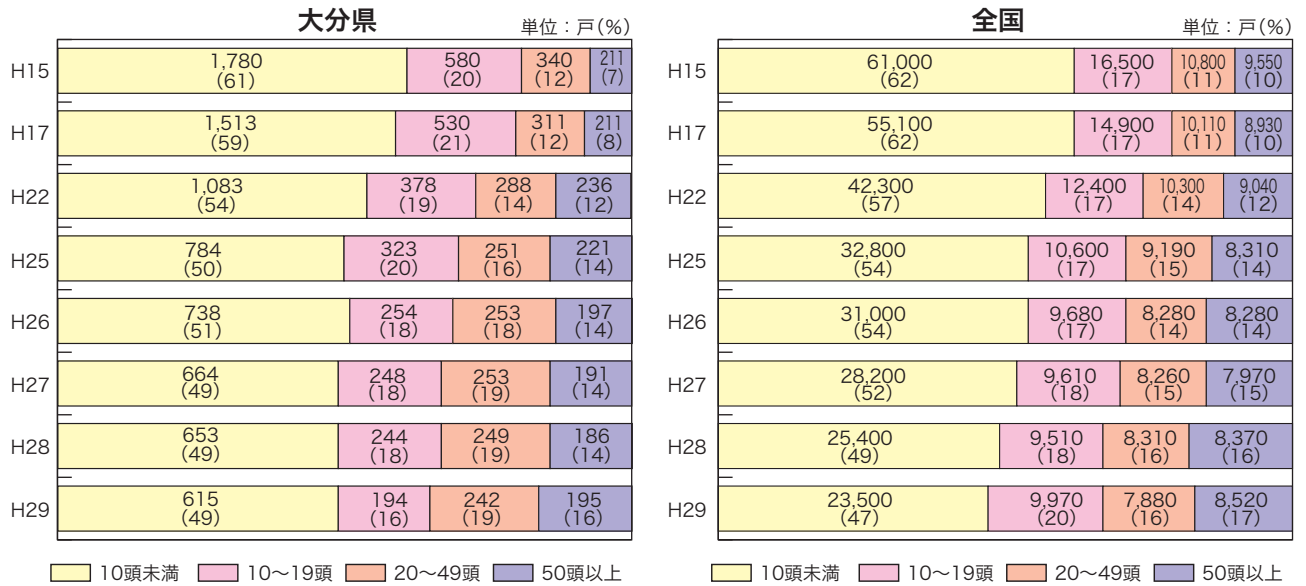


資料：農林水産省「畜産統計」

(注1) 子取り用雌牛：子牛の生産を目的として飼養している雌牛（過去に種付けしたことがある牛及び近い将来種付けをすることが確定している牛。）
(注2) 肥育牛：肉牛販売を目的に飼養している牛。したがって、保育・育成中の牛でも引き続き自家で肥育する予定のものは肥育牛とする。

子取り用雌牛は16,200頭で、前年に比べ300頭（1.8%）減少した。
肥育牛（肉用種）は、11,600頭と前年比でほぼ横ばい。
肥育牛（乳用種）は、10,700頭で前年に比べ500頭（4.5%）減少した。

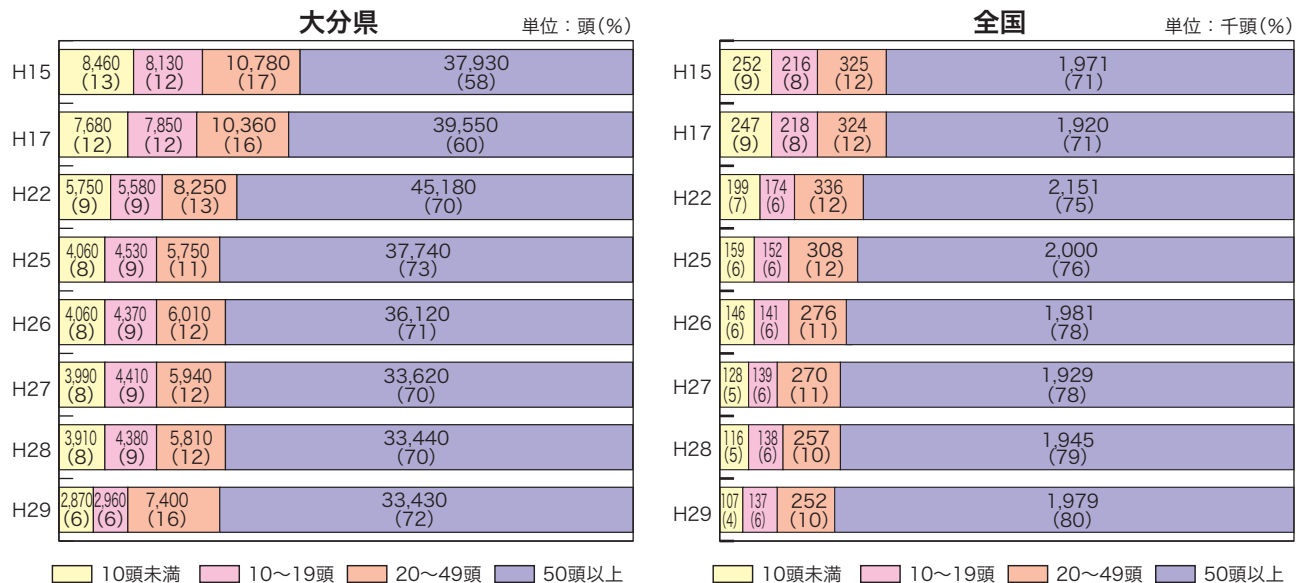
(3) 規模別飼養戸数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(注) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(4) 規模別飼養頭数の推移

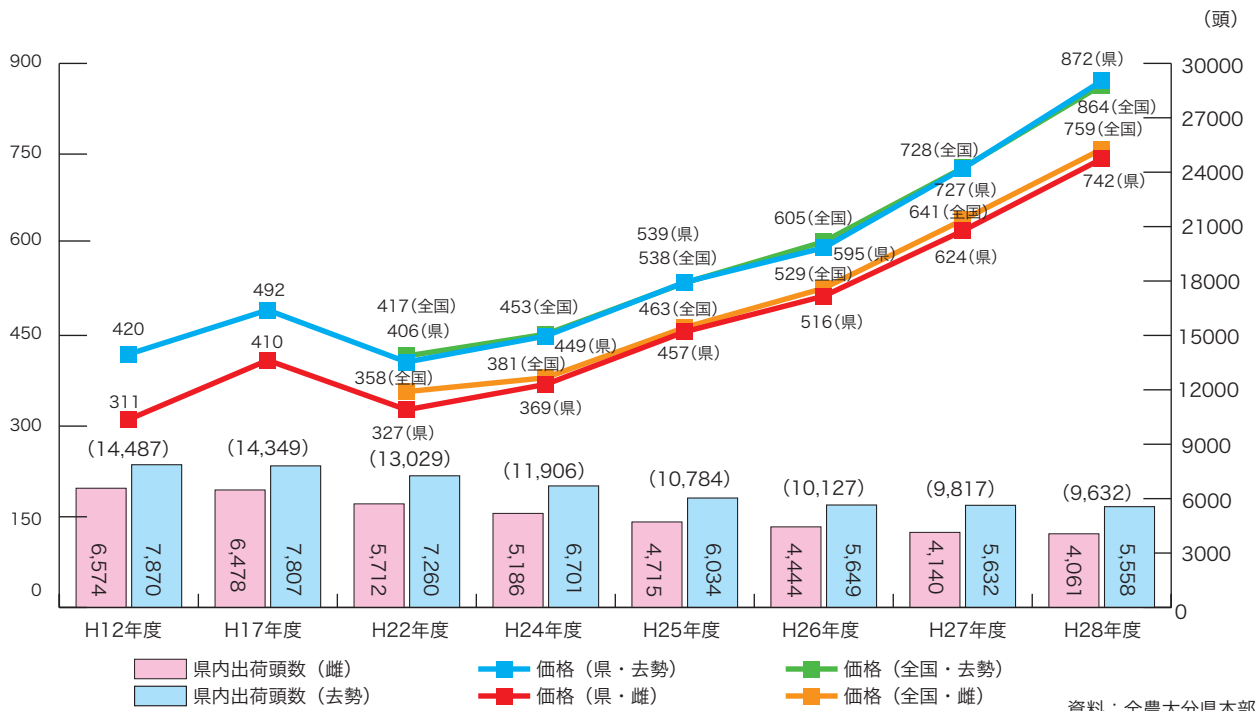


資料：農林水産省「畜産統計」

(注) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(5) 子牛市場出荷頭数・平均価格の推移

(千円/頭)



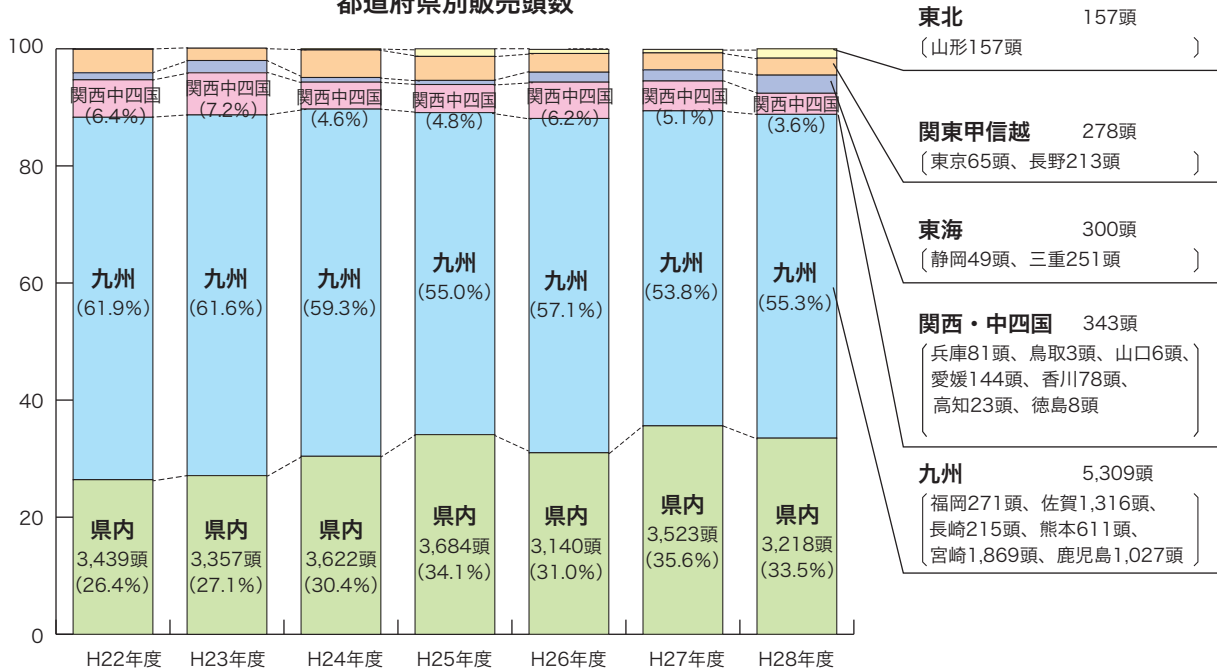
資料：全農大分県本部

(注1) グラフ内「去勢」頭数には「雄」頭数を含まず、()内出荷合計頭数には「雄」頭数を含まため、合計頭数は一致しない
 (注2) 「大分の畜産2011」以前は「入場頭数」を、「大分の畜産2012」以降は「成立頭数」を「出荷頭数」として計上
 (注3) 再上場による頭数等は含まないため、(6)に示す出荷頭数とは必ずしも一致しない。

H28年度の県内出荷頭数は9,632頭で、前年に比べ185頭(1.9%)減少した。
 平均価格は、去勢871,867円、雌742,340円で、それぞれ145千円、119千円と大幅に上昇した。

(6) 肉用子牛(黒毛和種)の流通

都道府県別販売頭数

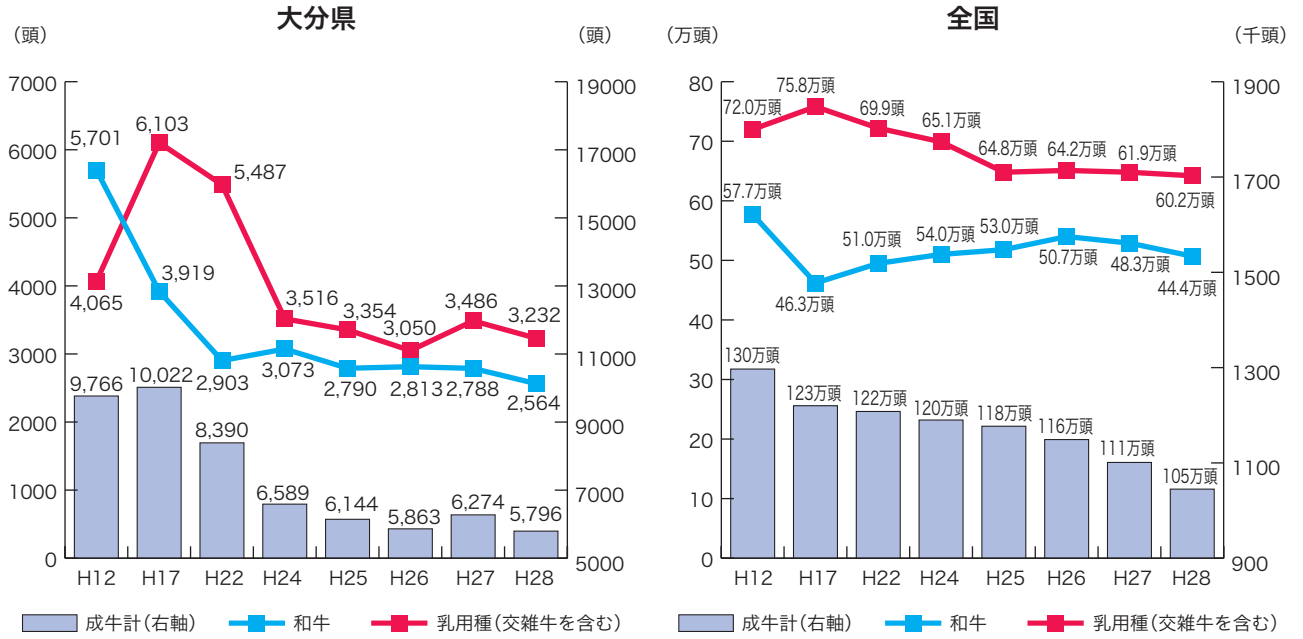


資料：全農大分県本部

(注) 再上場による頭数等を含むため、(5)に示す出荷頭数とは必ずしも一致しない

H28年度の県内販売頭数は3,218頭で、総出荷頭数頭の33.5%と減少した。
 地域別では九州が5,309頭(55.3%)と最も多く、県外販売頭数のうち83.1%を占めている。
 県別では、宮崎県が1,869頭(19.5%)と最も多く、次いで佐賀県1,316頭(13.7%)、鹿児島県1,027頭(10.7%)であった。

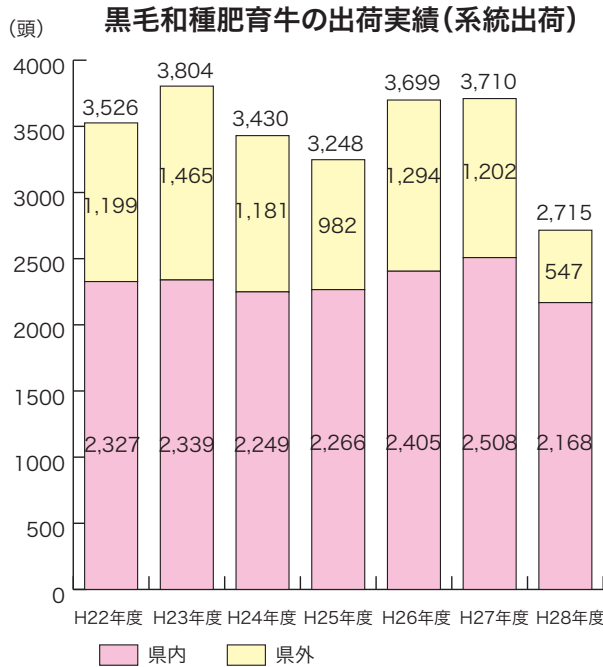
(7) 肉用牛県内と畜頭数の推移



資料：農林水産省「畜産物流通統計」

H28年の成牛と畜頭数は5,796頭で前年比7.6%減少し、和牛・乳用種ともに同程度の減少幅となっている。和牛はH26年以降減少傾向にあり、H28年は2,564等で前年比224頭減少(8.0%)と大幅な減少となった。乳用種(交雑牛を含む)は3,232頭(うち乳牛1,927頭)で、前年の3,486頭(うち乳牛2,011頭)に比べ、254頭(7.3%)減少した。

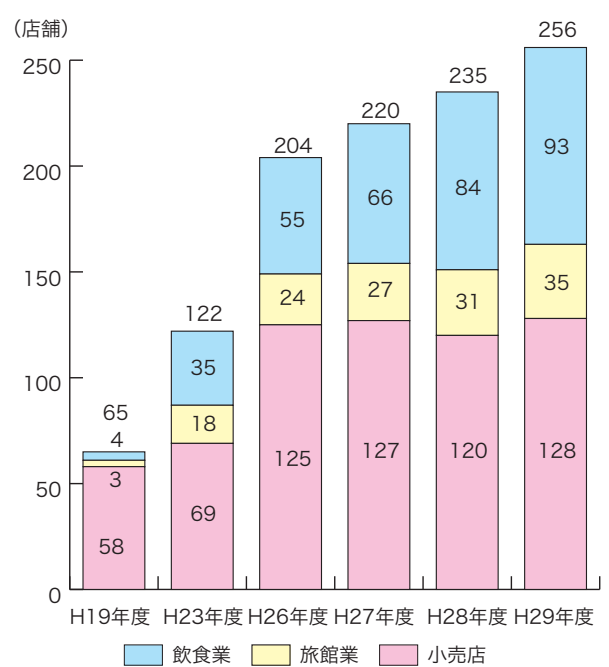
(8) 県産肉用牛(黒毛和種肥育牛)の流通



資料：全農大分県本部

28年度の黒毛和種肥育牛の出荷頭数(系統出荷)は2,715頭で、前年比995頭(26.8%)減少している。うち県外出荷頭数は547頭で前年比655頭(54.5%)減少している。

(9) おおいた豊後牛取扱認定店舗数推移

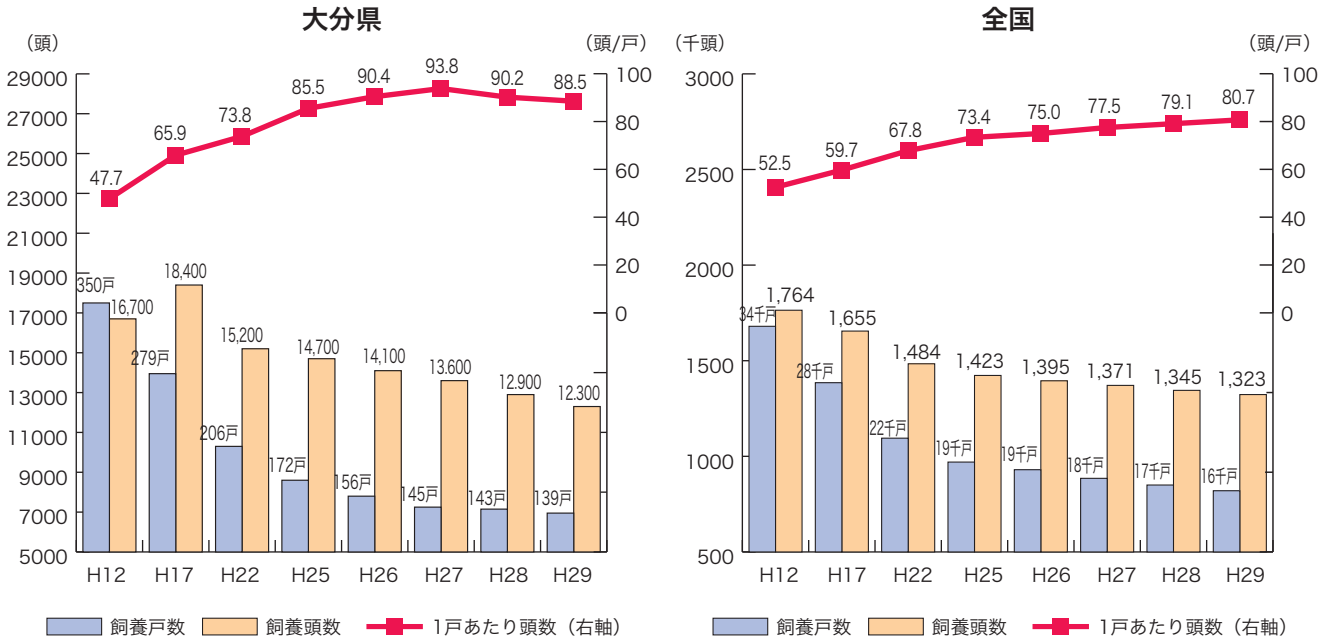


資料：大分県豊後牛流通促進対策協議会

認定店制度はH19年度に始まり、H29年度には256店舗になった。業種別では小売店が最も多く、50.0%を占めている。H28年度からH29年度にかけて最も伸び率が高いのは旅館業で4店舗(12.9%)増加した。

2. 乳用牛

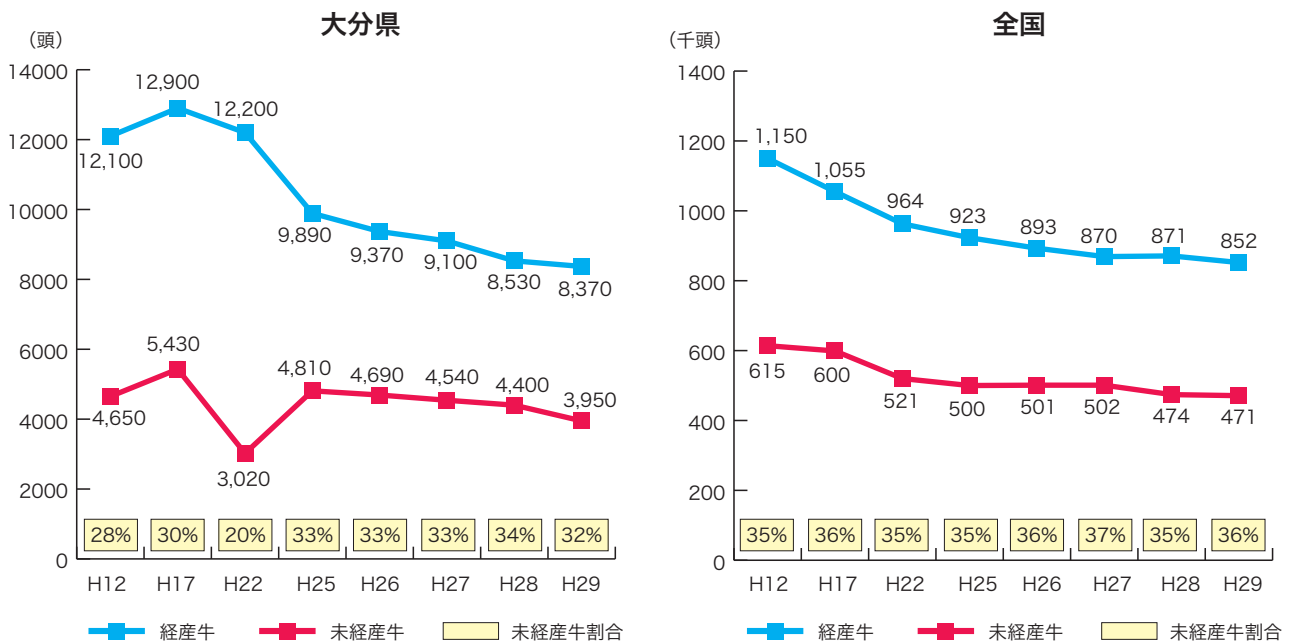
(1) 飼養戸数・頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

H29年2月1日現在の飼養戸数は139戸で前年に比べ4戸減少した。飼養頭数は12,300頭で、前年に比べ600頭（4.7%）減少した。生産調整等の影響によりH17年比では66.8%まで減少している。1戸あたり飼養頭数はH27年までは順調に増加したが、H28年より減少に転じ、その傾向は続いている。

(2) 用途別頭数の推移

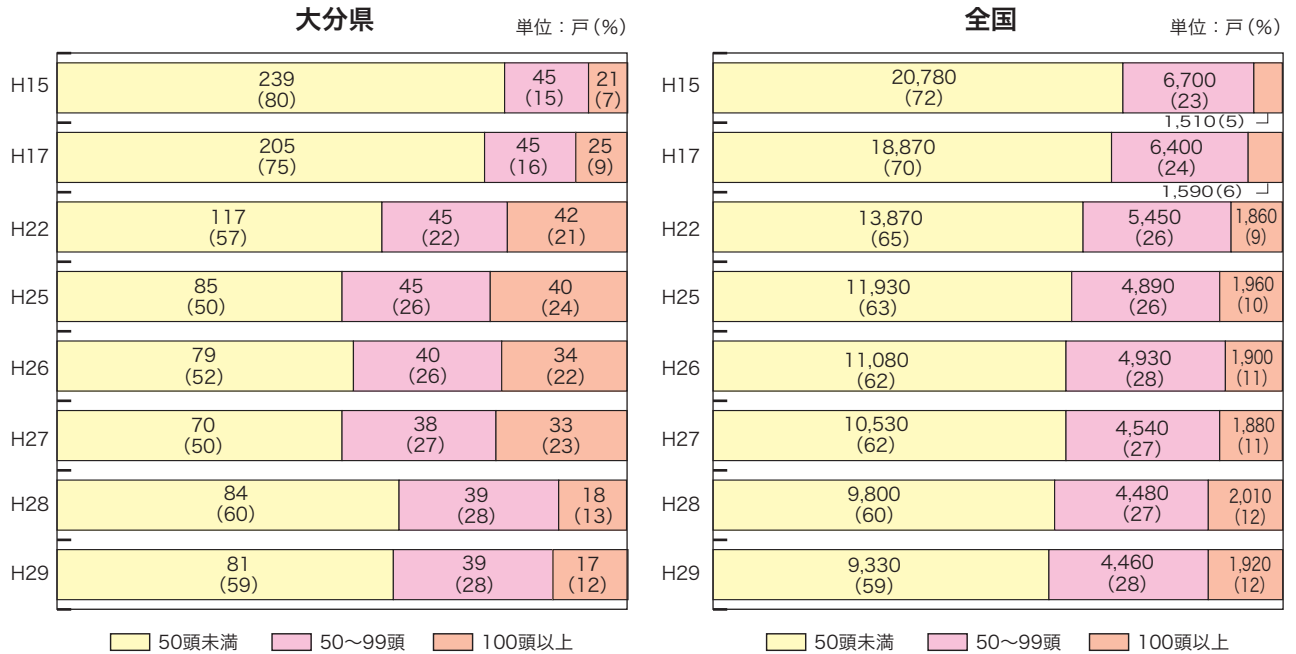


資料：農林水産省「畜産統計」

(注1) 搾乳牛：経産牛のうち、搾乳中の牛のこと。
 (注2) 乾乳牛：経産牛のうち、搾乳していない牛のこと。分娩前乾乳と空胎乾乳がある。
 (注3) 未経産牛：出生してから分娩するまでの牛で、生後30ヶ月位までが主体。

大分県は全国に比べ未経産牛割合が低く、H22年には20%まで低下した。その後上昇し、H28年は34%とH12年以降最も高くなったものの、H29年には32%と低下している。

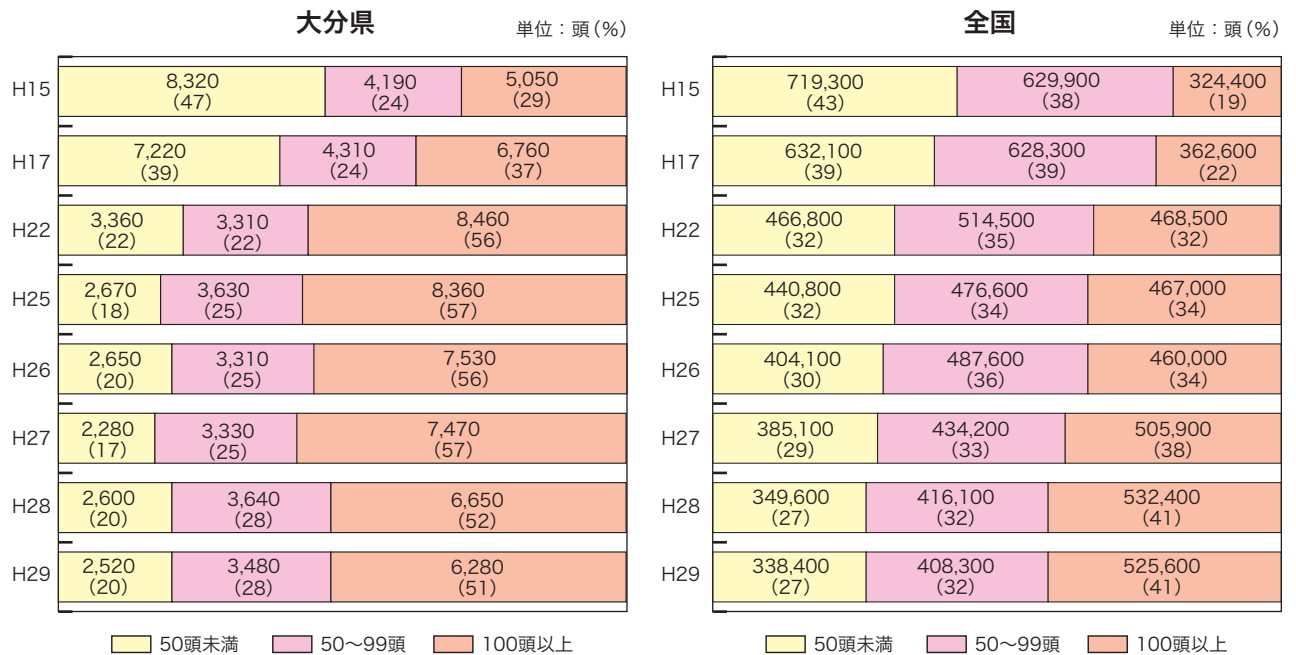
(3) 成畜飼養頭数規模別飼養戸数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(注) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(4) 成畜飼養頭数規模別飼養頭数の推移

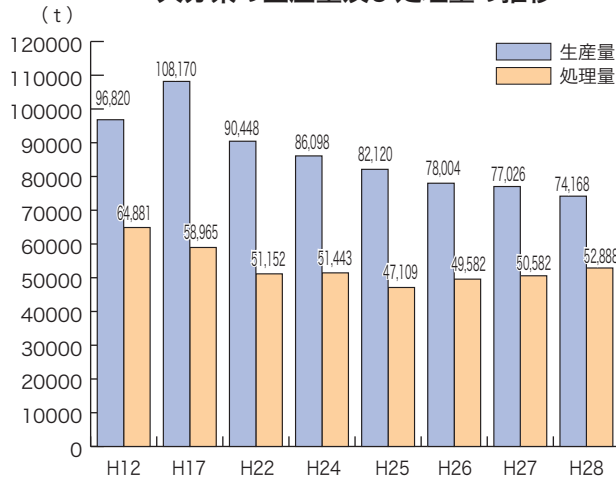


資料：農林水産省「畜産統計」

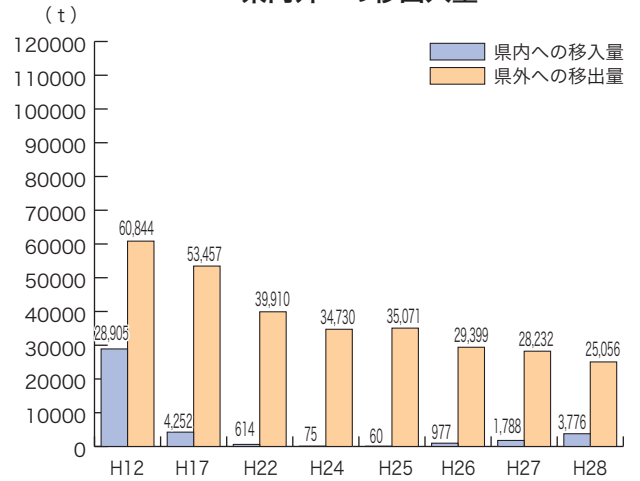
(注) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(5) 生乳生産量・処理量の推移

大分県の生産量及び処理量の推移

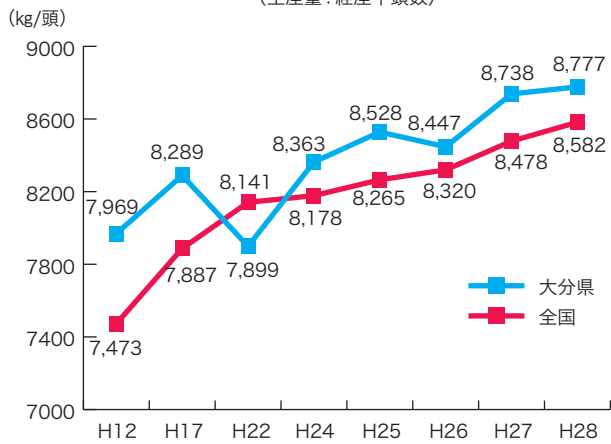


県内外への移出入量



経産牛1頭あたり乳量

(生産量÷経産牛頭数)



①生産量及び処理量

H18年の生産調整開始後、生産量は減少しており、H28年は前年比2,858t (3.7%)の減少となっている。

②県内外への移出入量

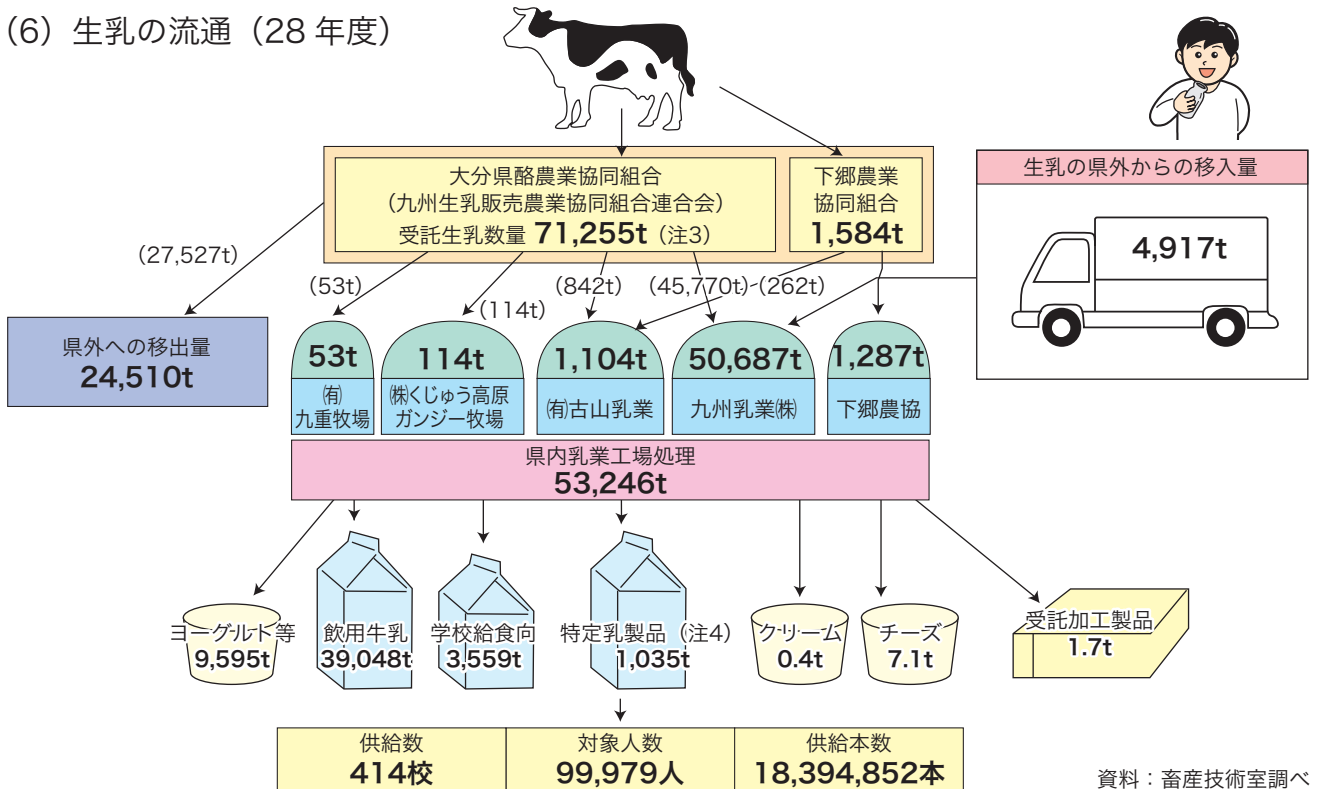
大分県は移入量に比べ移出量の多い輸出県であり、減少傾向であった移出量もH23年以降、増加に転じていたが、H26年から再び減少している。

③経産牛1頭あたり乳量

大分県は生産調整開始後、飼養頭数と乳量枠とのバランスが崩れ、全国平均を下回っていたが、H24年以降は回復し、全国平均を上回っている。

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」より

(6) 生乳の流通 (28年度)



資料：畜産技術室調べ

(注1) 生乳生産量：初乳を除く生乳（搾乳したままの乳用牛の乳）の総量であり、乳製品工場、牛乳処理場に出荷したもののほか、生産者の自家飲用、子牛ほ乳用等を含めたもの。

(注2) 生乳処理量：生乳を県内で乳製品向け、飲用牛乳向け、その他向け（自家飲料、子牛のほ乳用）に処理したものの量。

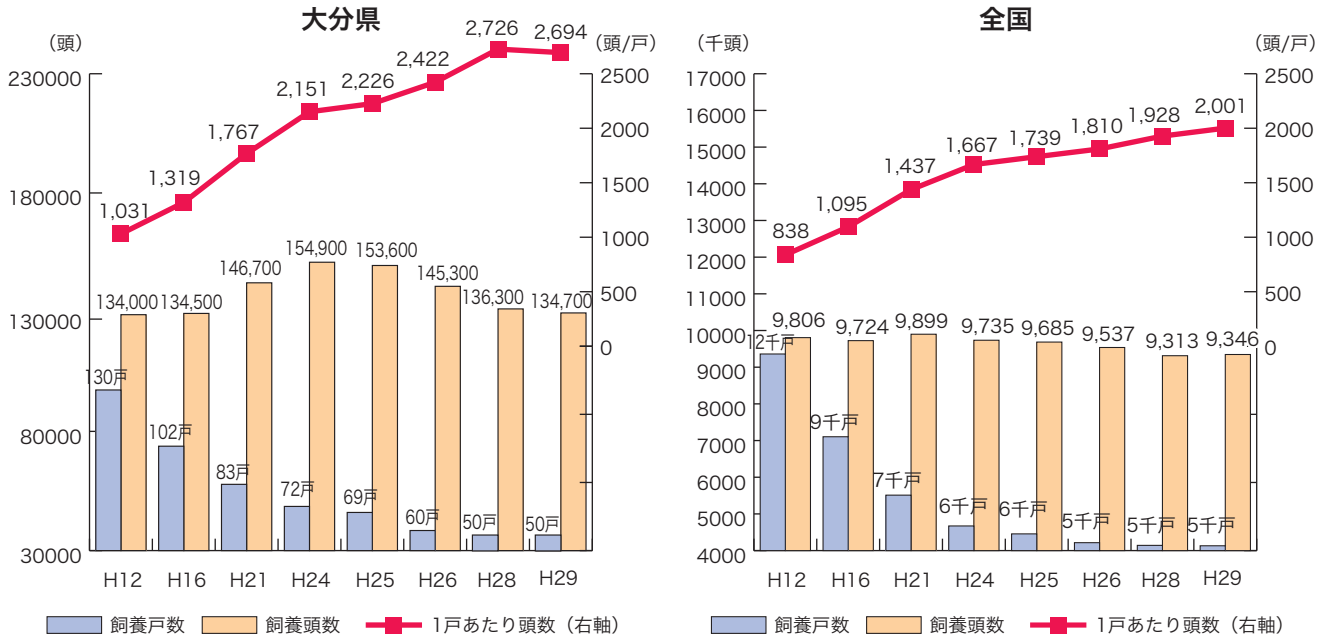
(注3) 受託生乳数量：酪農家が県酪協に委託して、九州生乳販売農業協同組合連合会に出荷した量。

(注4) 特定乳製品：全粉乳、脱脂粉乳、加糖粉乳、全脂加糖練乳、脱脂加糖練乳、全脂無糖練乳、バター及び子牛用の脱脂乳をいう。

(注5) 当該データはH27年度数値であり、農林水産省「牛乳乳製品統計」はH27年度数値であるため、両者は必ずしも一致しない。

3. 豚

(1) 飼養戸数・頭数の推移

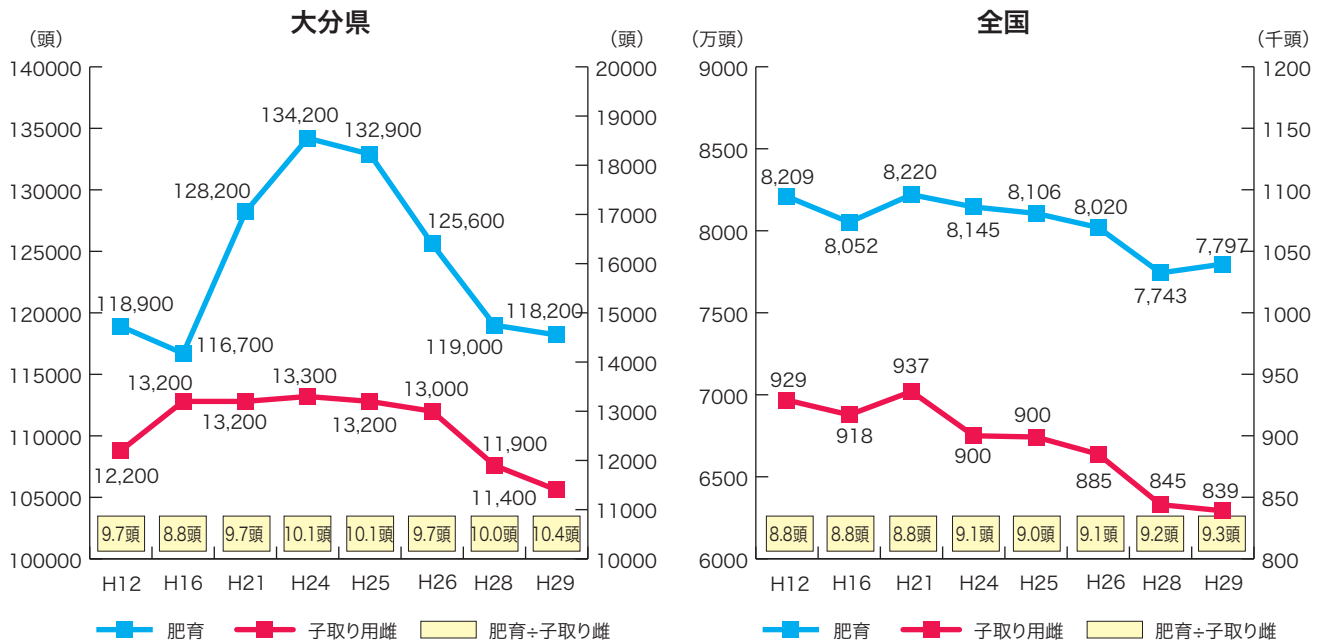


資料：農林水産省「畜産統計」

(注) H17年、H22年及びH27年はセンサス実施年のため未公表

H29年の飼養戸数は50戸で前年比増減なしとなったが、飼養頭数は134,700頭と前年比で1,600頭（1.2%）減少した。そのため、1戸あたり頭数では2,694頭/戸と前年比32頭/戸（1.2%）減少したものの、全国平均値2,001頭/戸に比べると高い水準となっている。

(2) 用途別頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

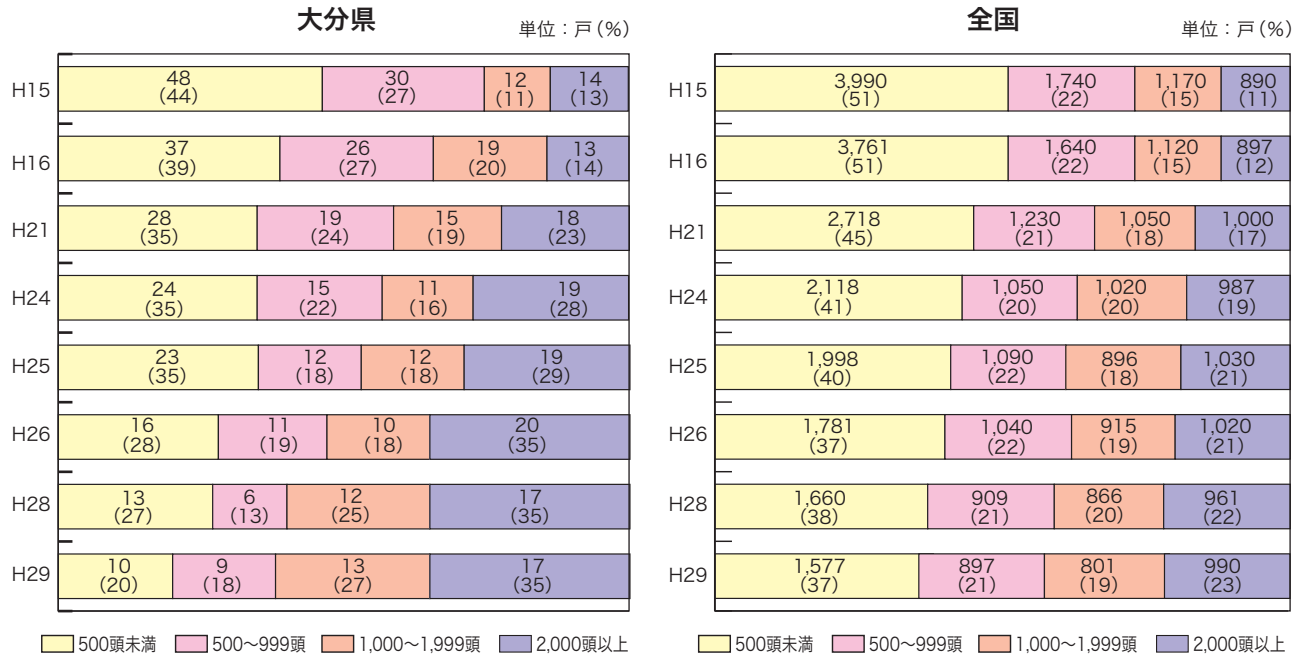
(注1) H17年、H22年及びH27年はセンサス実施年のため未公表

(注2) 子取り用めす豚とは生後6ヶ月以上で子豚を生産することを目的としているめす豚のこと。

実際には過去に種付けしたことのある豚及び近い将来種付けすることが確定している豚のこと。

子取り用めす豚は11,400頭で前年比500頭（4.2%）減少したが、1戸あたりの飼養頭数は317頭で3.9%増加した。肥育豚は118,200頭で前年比800頭（0.7%）減少した。肥育豚頭数を子取り用めす豚頭数で除した値は全国平均を上回っている。

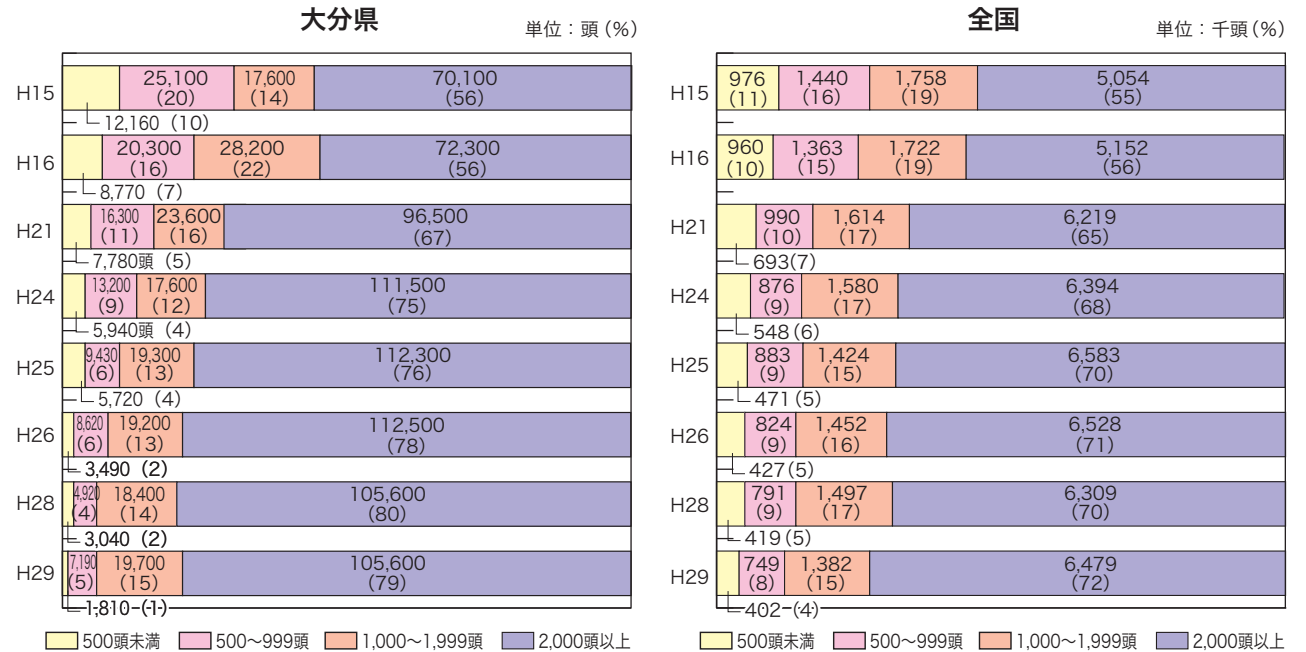
(3) 肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

- (注1) H17年、H22年及びH27年はセンサス実施年のため未公表
- (注2) 肥育舎：肉豚として販売することを目的としている豚をいい、もと豚として販売するものは含まない。
- (注3) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

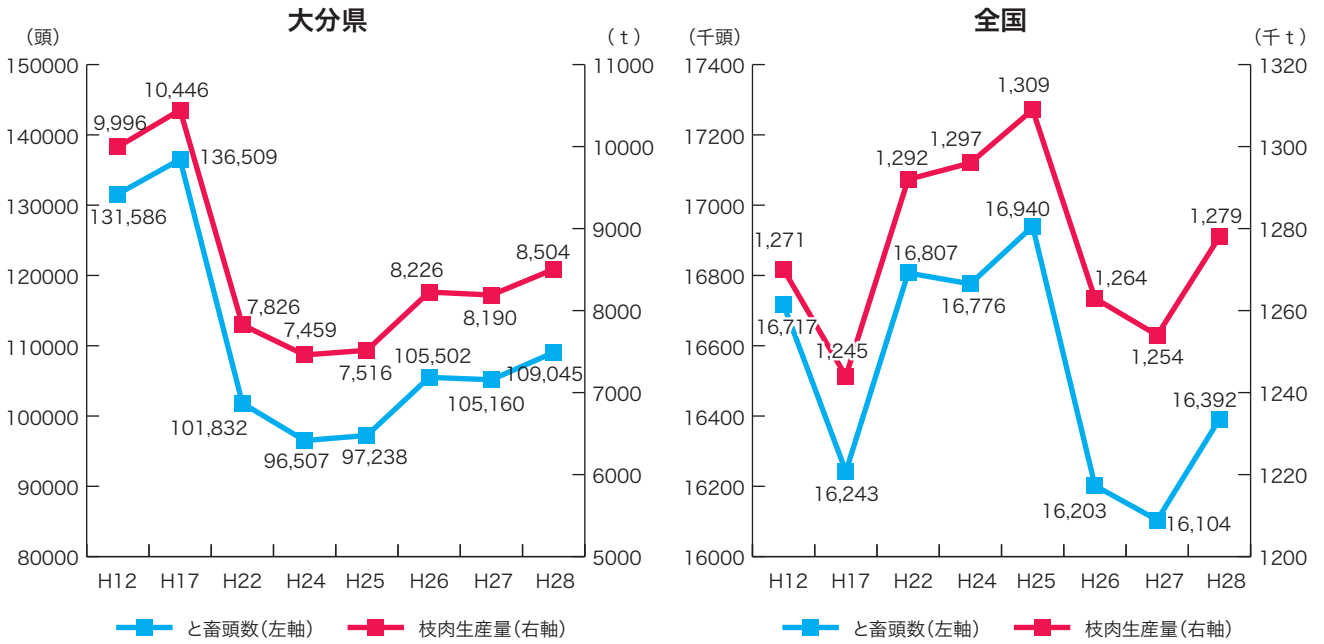
(4) 肥育豚頭数規模別飼養頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

- (注1) H17年、H22年及びH27年はセンサス実施年のため未公表
- (注2) 肥育舎：肉豚として販売することを目的としている豚をいい、もと豚として販売するものは含まない。
- (注3) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(5) 肉豚のと畜及び枝肉の生産状況

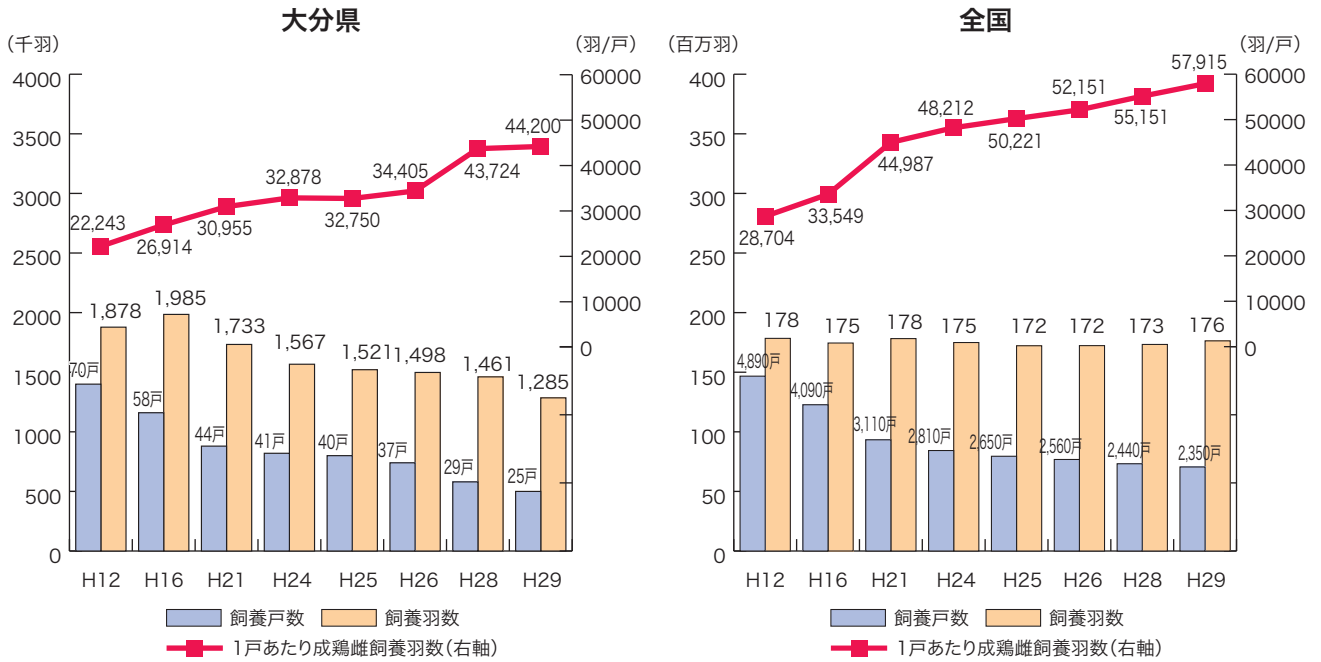


資料：農林水産省「畜産物流通統計」

H28年の県内と畜頭数は109,045頭で、前年に比べ3,885頭（3.7%）増加した。
一方で、H29年の県内肥育頭数は118,200頭と前年に比べ800頭（0.7%）減少している。

4. 採卵鶏

(1) 飼養戸数・羽数の推移



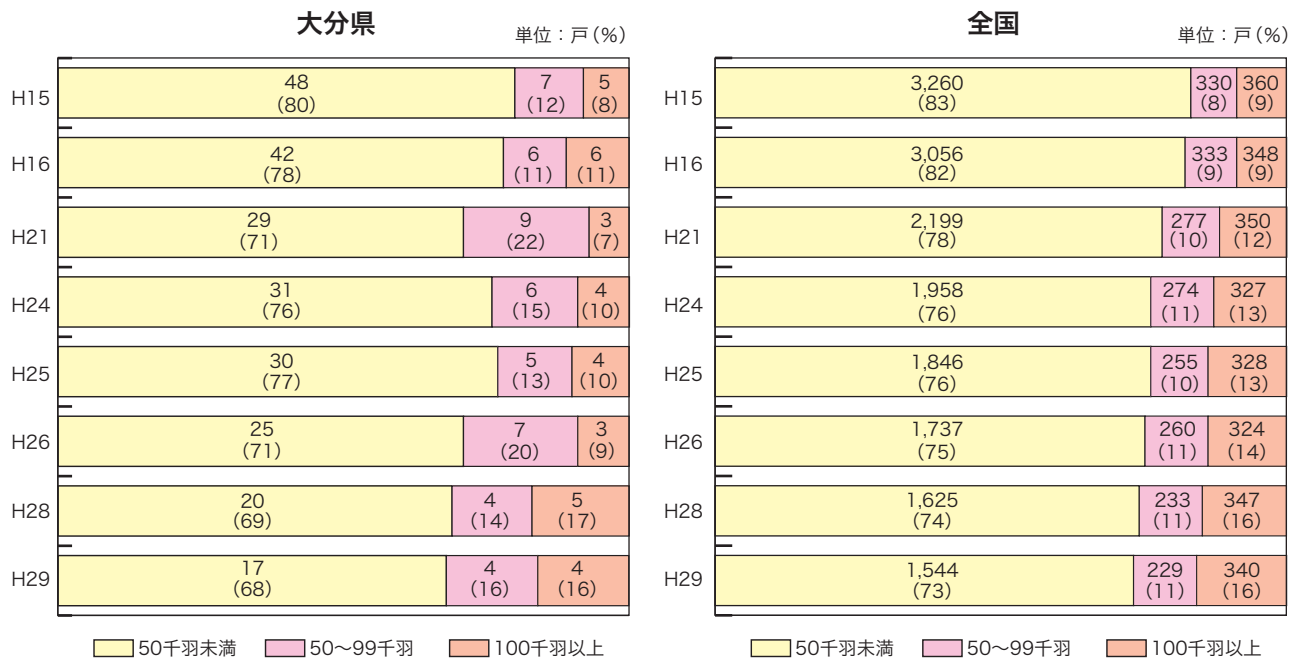
資料：農林水産省「畜産物流通統計」

(注1) H17年、H22年及びH27年はセンサス実施年のため未公表。

(注2) 飼養戸数・羽数は種鶏のみの飼養戸数、種鶏の飼養羽数を除き、成鶏めす羽数は1,000羽未満の飼養戸数・羽数を除く。

H29年の飼養戸数は25戸と前年に比べ4戸（13.8%）減少し、飼養羽数は1,285千羽で同176千羽（12.0%）減少している。
1戸あたり成鶏めす飼養羽数は、前年に比べ476羽（1.1%）増加し44,200羽となったが、全国平均の57,915羽を下回っている。

(2) 成鶏めす羽数規模別飼養戸数の推移



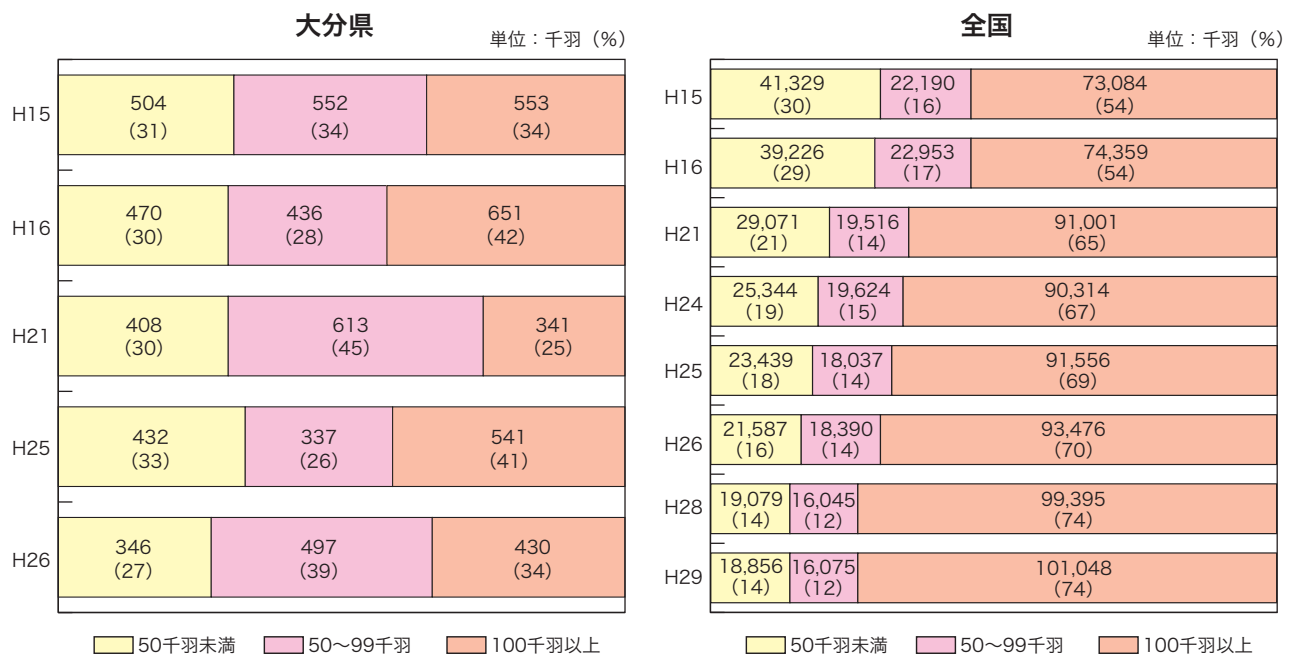
資料：農林水産省「畜産物流通統計」

(注1) H17年、H22年及びH27年はセンサス実施年のため未公表。

(注2) 戸数には1,000羽未満の飼養戸数は含まない。

(注3) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(3) 成鶏めす羽数規模別成鶏めす飼養羽数の推移



資料：農林水産省「畜産物流通統計」

(注1) H17年、H22年及びH27年はセンサス実施年のため未公表。

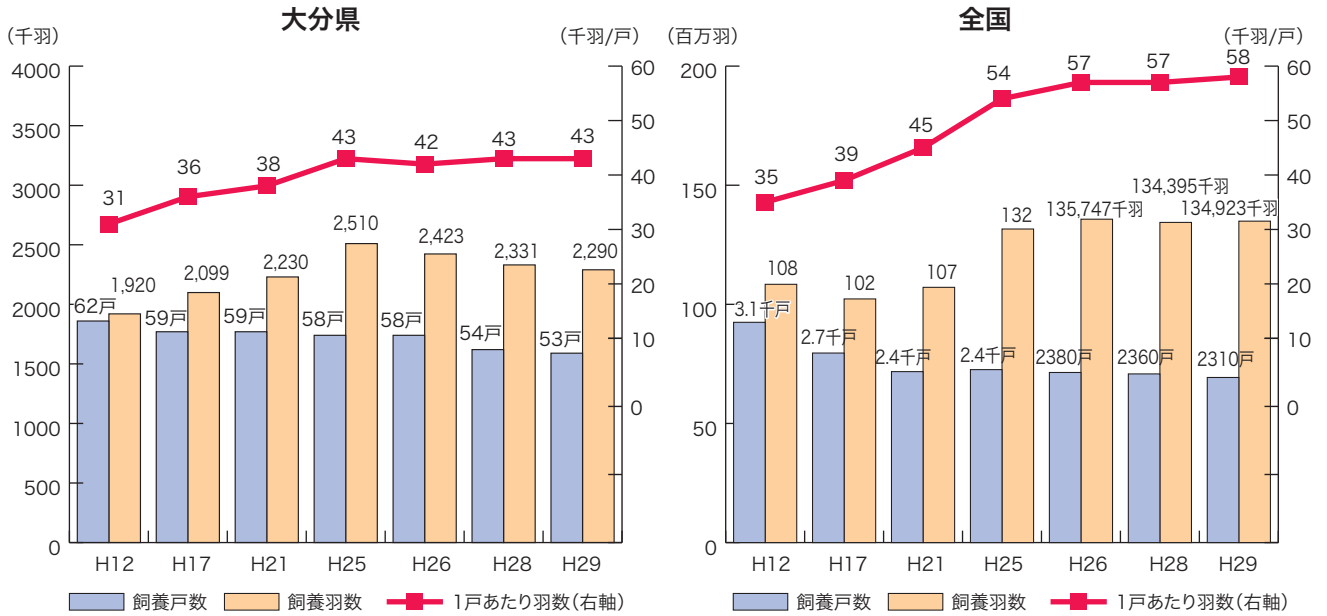
(注2) 戸数には1,000羽未満の飼養戸数は含まない。

(注3) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない。

(注4) H24年、H28年、H29年の大分県数値は、一部に非公表数値があったためグラフから除外。当該非公表は少数調査農家の秘密保護を目的として行われるもの。

5. プロイラー

(1) 飼養戸数・羽数の推移



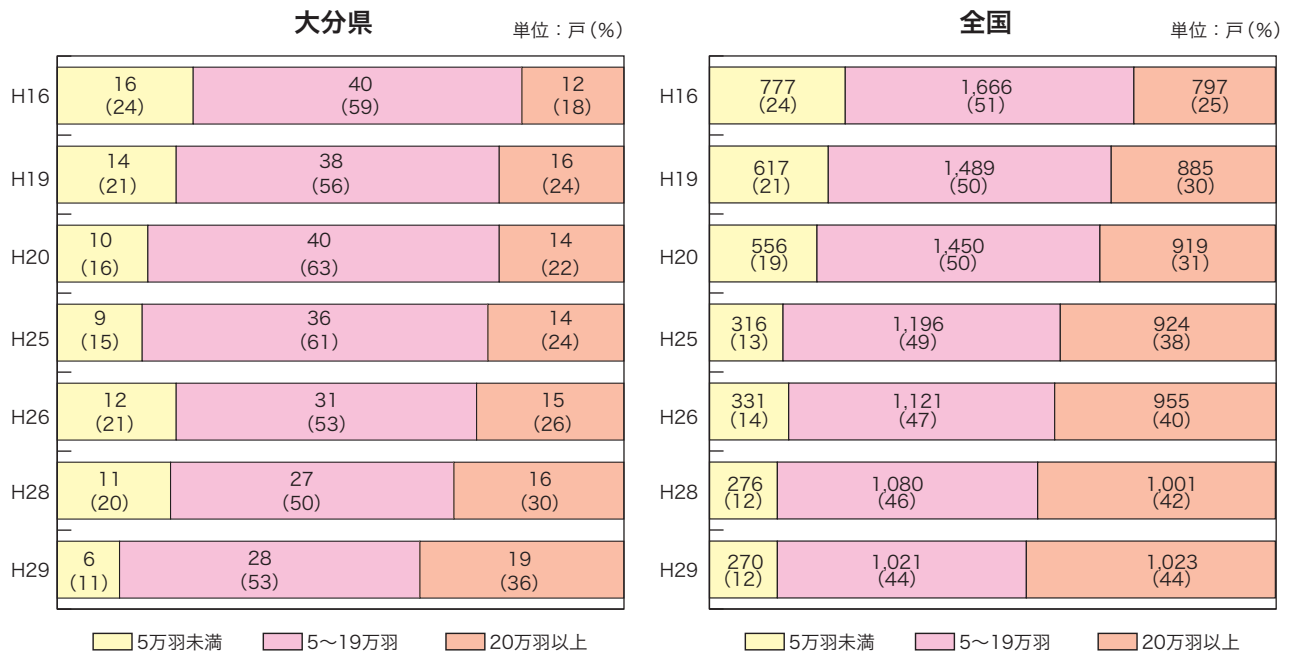
(注1) この統計は、2月1日現在のプロイラー飼養戸数及び飼養頭数を調査したもので、一時的に鶏舎消毒のためオールアウトしていた等により、プロイラーを飼養していない飼養者は除外したものである。

(注2) H22年からH24年までは調査は行われなかったが、H25年から再開されている。

(注3) H27年はセンサス実施年のため未公表。

H29年の飼養戸数は53戸と前年に比べ1戸（1.9%）減少、飼養羽数は2,290千羽と41千羽（1.8%）減少したが、1戸あたり飼養羽数はほぼ横ばいとなった。

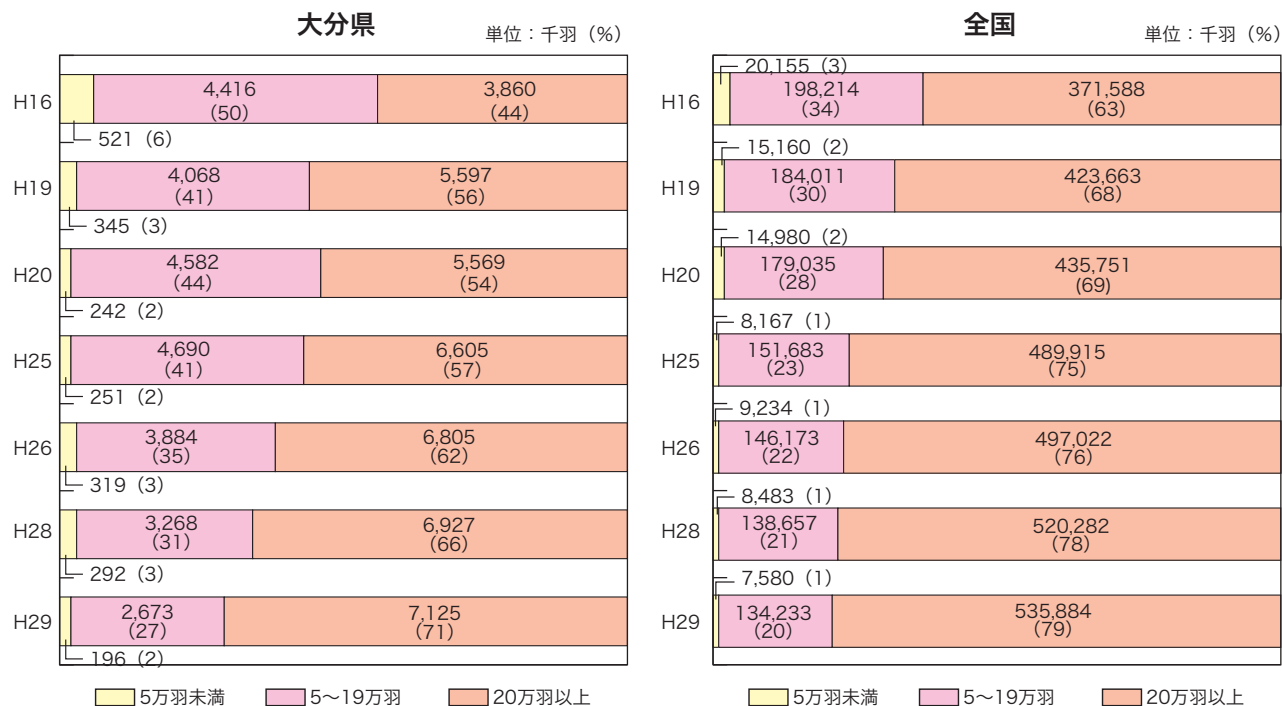
(2) 出荷羽数規模別出荷戸数の推移



(注1) H21年からH24年は調査が行われなかったが、H25年から再開されている。

(注2) H27年はセンサス実施年のため未公表。

(3) 出荷羽数規模別出荷羽数の推移



資料：農林水産省「食鳥流通統計」

(注1) H21年からH24年までは調査は行われなかったが、H25年から再開されている。

(注2) H27年はセンサス実施年のため未公表。



おおいた豊後牛サポーターショップ第1号店
「焼肉ホルモン プンゴ」



OBSサマーフェスタ (若草公園)



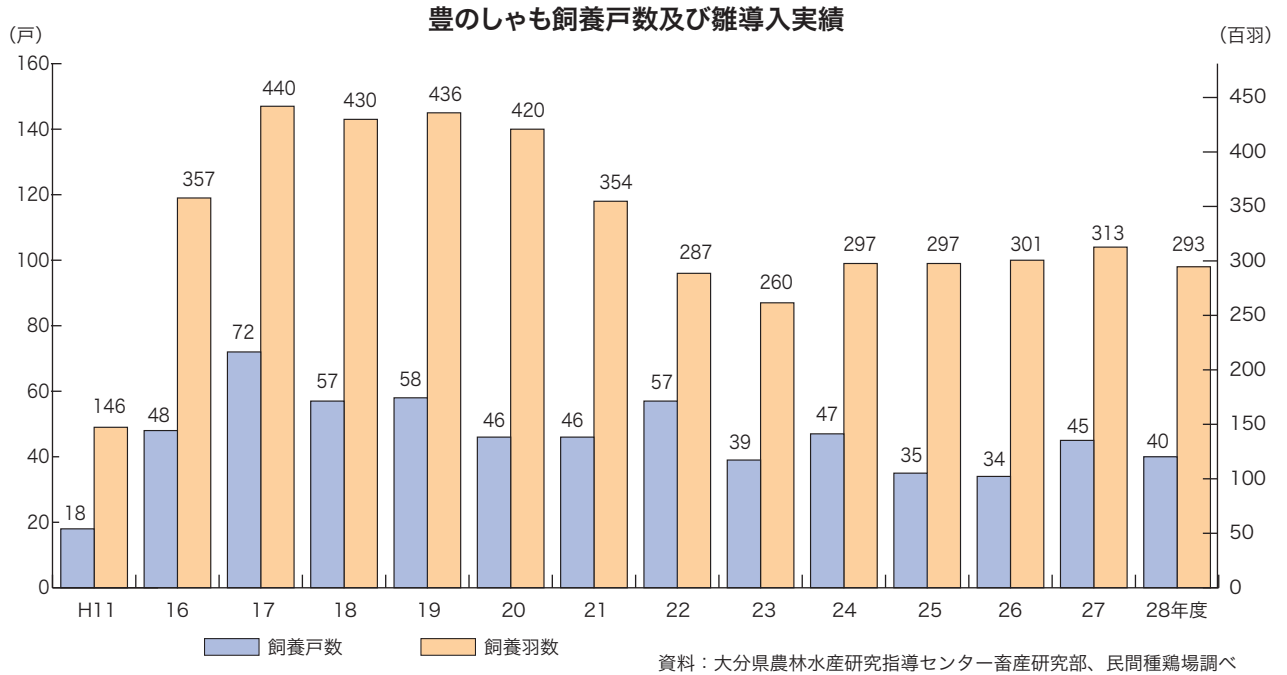
日本一おおいた豊後牛フェア
(トキハアクロス)



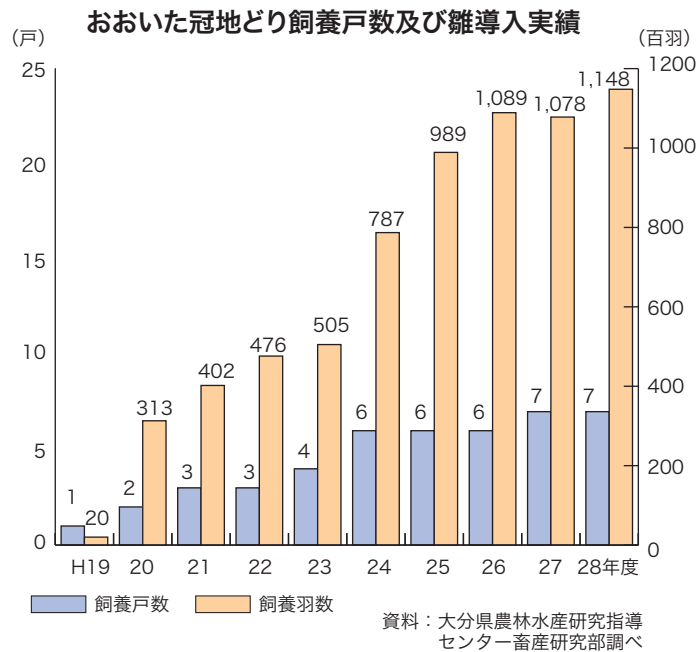
大分県農林水産祭での「おおいた豊後牛」PR
(別府公園)

6. 地鶏

(1) 豊のしゃも



(2) おおいた冠地どり



(3) 地鶏取扱店

①豊のしゃも取扱店 (H28.10現在)

- ・ 県内卸小売 15店 (18店：83%)
- ・ 県内料理店 41店 (44店：93%)
- ・ 県外卸小売 9店 (8店：113%)
- ・ 県外料理店 29店 (24店：121%)
- ・ 計 94店 (94店：100%)

※ () 内はH26年8月時点の店舗数及びH26年8月からH28年10月にかけての伸び率 (%)

※取扱店の調査は隔年で実施するため、H29年度は調査していない。

②おおいた冠地どり取扱店 (H28.10現在)

- ・ 県内卸小売 80店 (71店：113%)
- ・ 県内料理店 372店 (288店：129%)
- ・ 県外卸小売 53店 (38店：139%)
- ・ 県外料理店 106店 (56店：189%)
- ・ 計 611店 (453店：112%)

※ () 内はH26年10月時点の店舗数及びH26年10月からH28年10月にかけての伸び率 (%)

※取扱店の調査は隔年で実施するため、H29年度は調査していない。

①豊のしゃも

飼養戸数は40戸で、前年に比べ5戸 (11.1%) 減少し、飼養羽数も20百羽の減少となっている。H17年のピークに比べ、飼養戸数で55.6%、飼養羽数で66.6%まで減少している。

②おおいた冠地どり

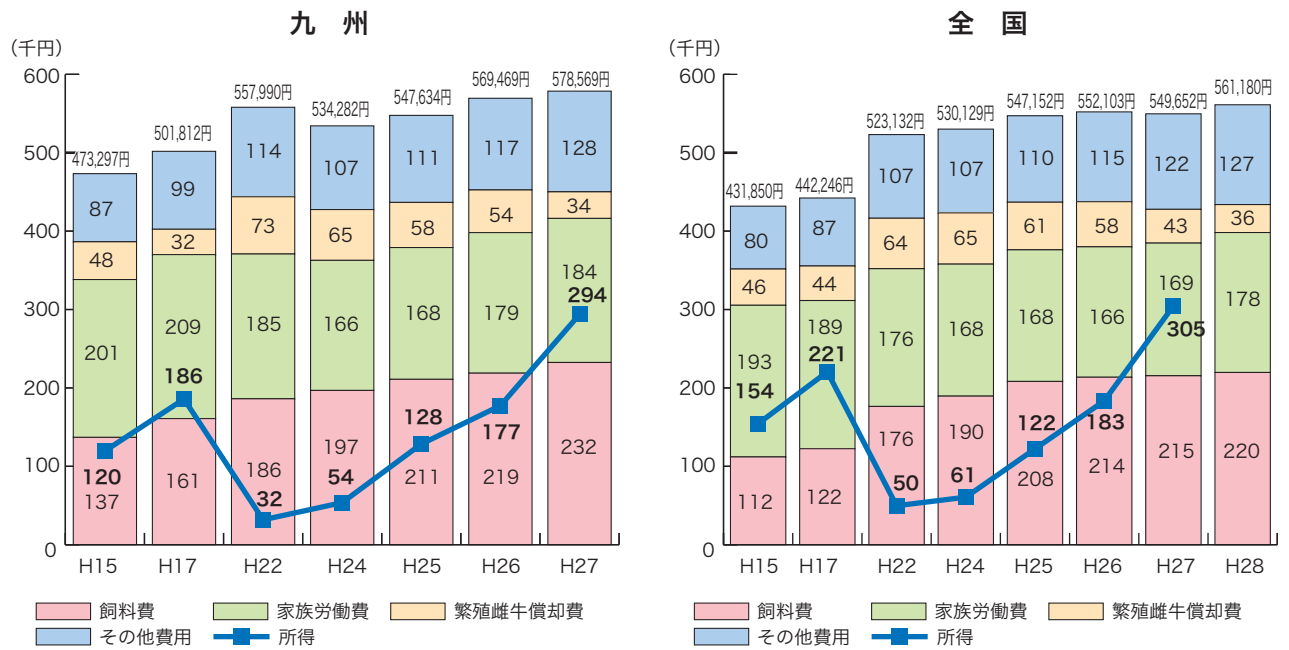
H28年度の飼養羽数は1,148百羽であり、前年に比べ70百羽 (106.5%) 増加減少している。飼養戸数は横ばいとなっている。

③地鶏取扱店

豊のしゃも取扱店はH26年に比べ横ばいであるが、おおいた冠地どり取扱店の伸びが大きく県内外で610店舗を超えている。

7. 生産費と所得の推移

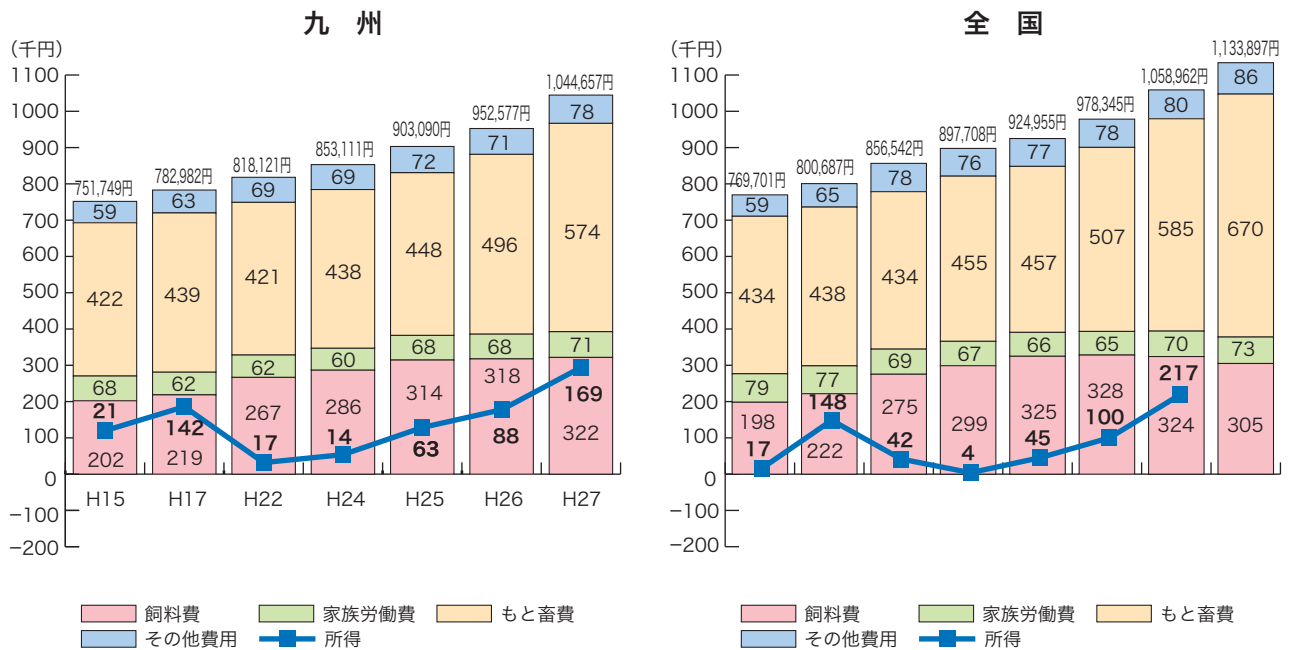
(1) 子牛の生産費（子牛1頭あたり）と所得（繁殖雌牛1頭あたり）の推移



資料：農林水産省「経営統計」

(注) 大分の畜産2017作成時点において、H28年数値は全国数値の一部のみ公表されている。

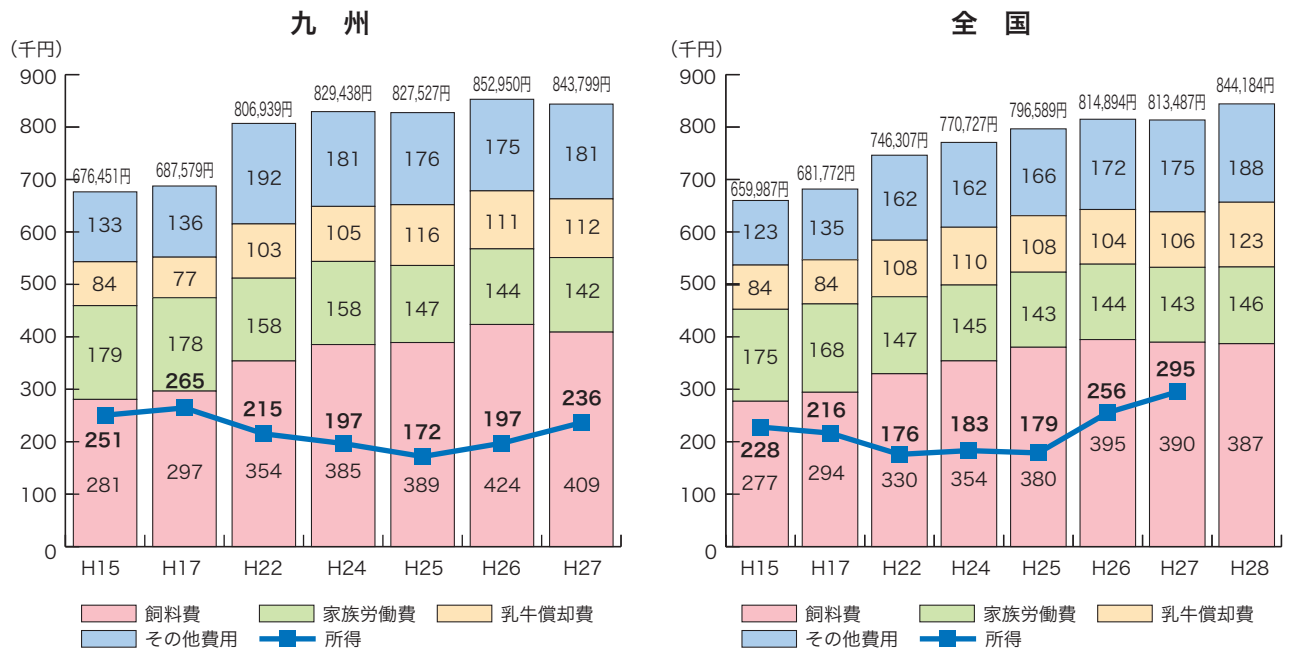
(2) 肥育牛生産費と所得の推移（去勢肥育牛1頭当たり）



資料：農林水産省「経営統計」

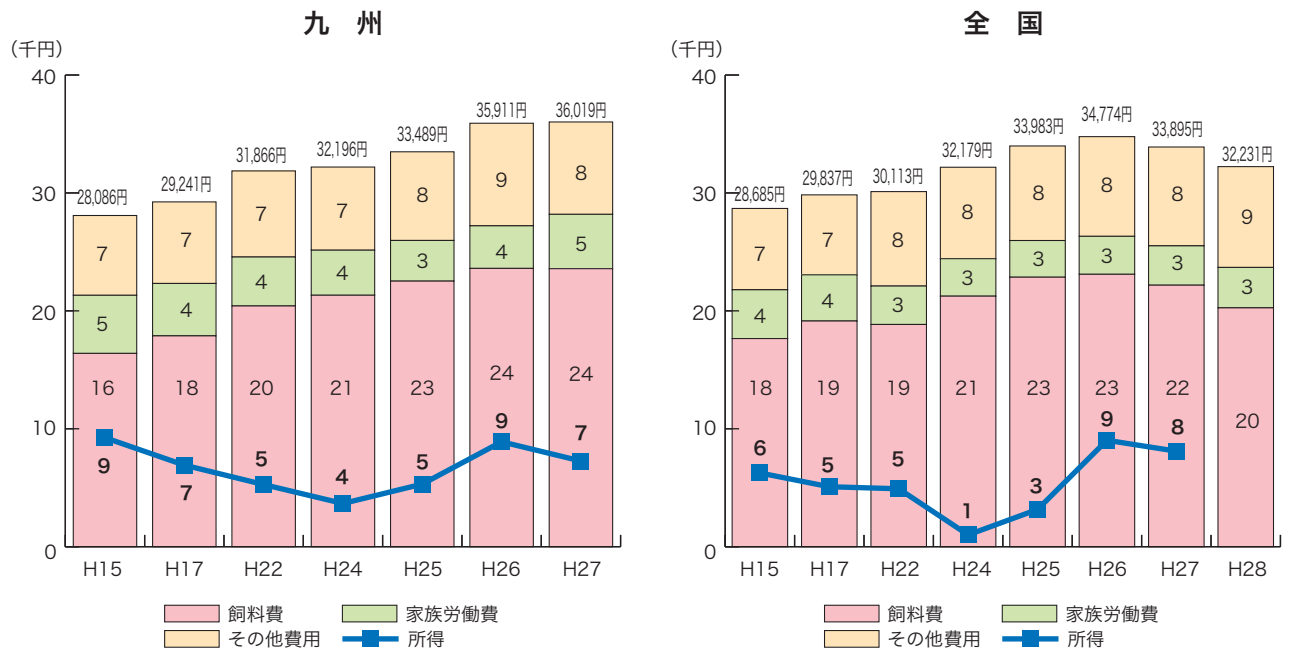
(注) 大分の畜産2017作成時点において、H28年数値は全国数値の一部のみ公表されている。

(3) 生乳生産費と所得の推移（搾乳牛通年換算1頭当たり）



(注) 大分の畜産2017作成時点において、H28年数値は全国数値の一部のみ公表されている。

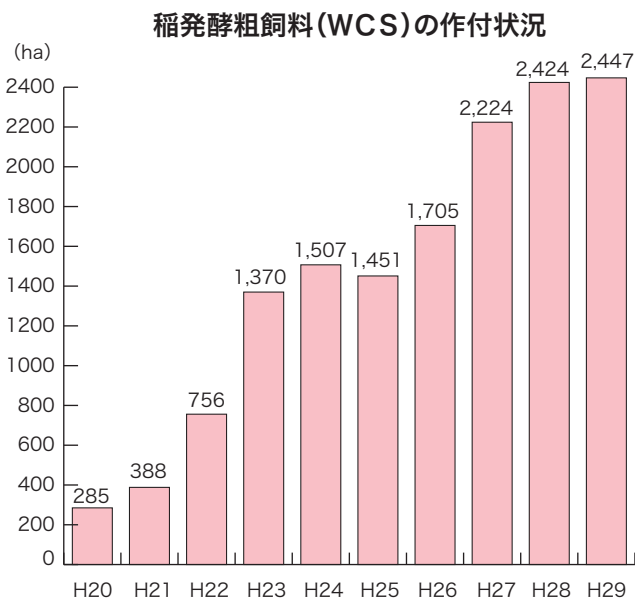
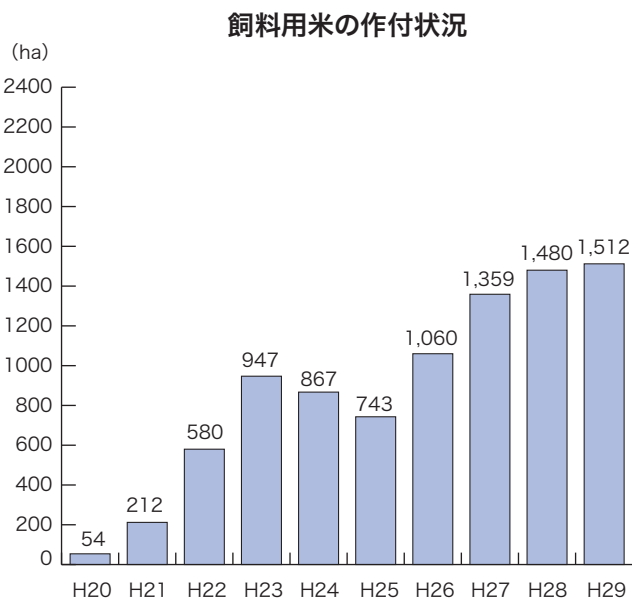
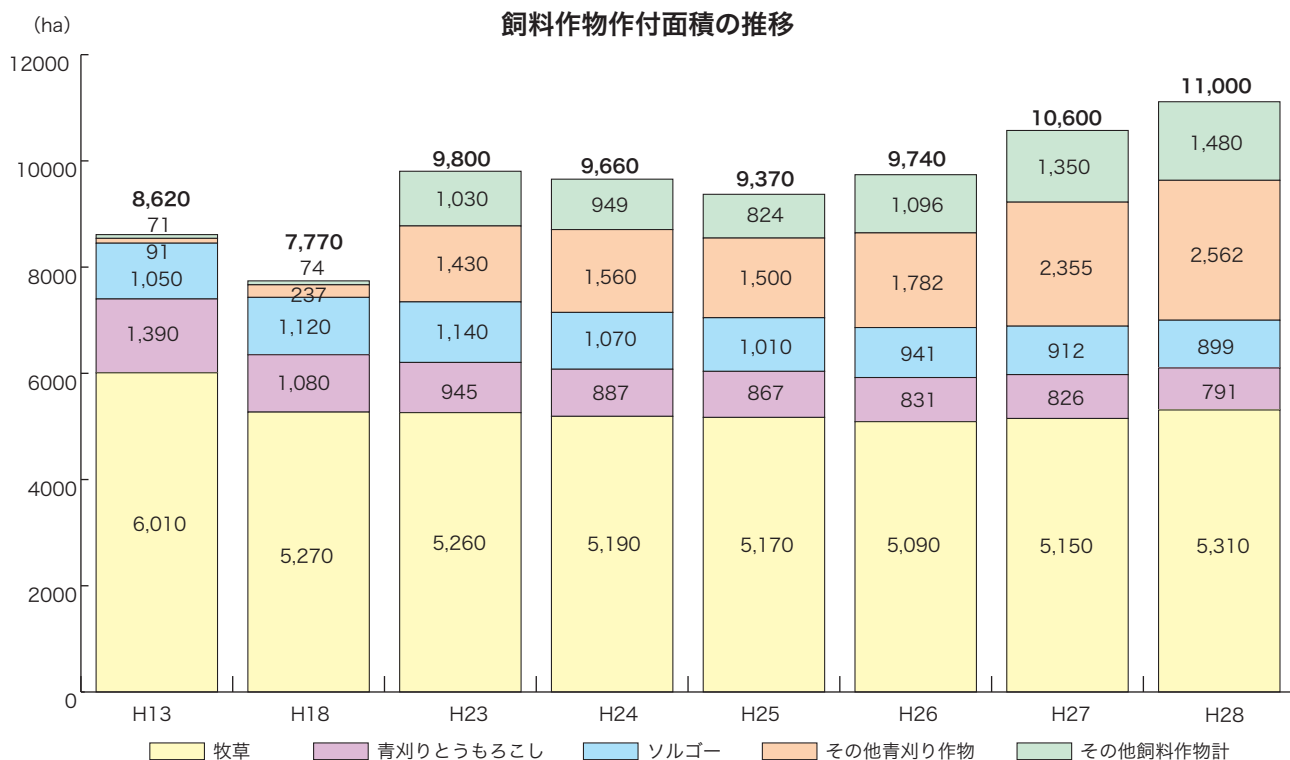
(4) 肥育豚生産費と所得の推移（肥育豚1頭当たり）



(注) 大分の畜産2017作成時点において、H28年数値は全国数値の一部のみ公表されている。

Ⅲ 飼料

1. 飼料作物作付状況



資料：畜産技術室調べ

①飼料作物作付面積

H28年の作付け面積は11,000haで、前年に比べ400ha（3.8%）拡大した。

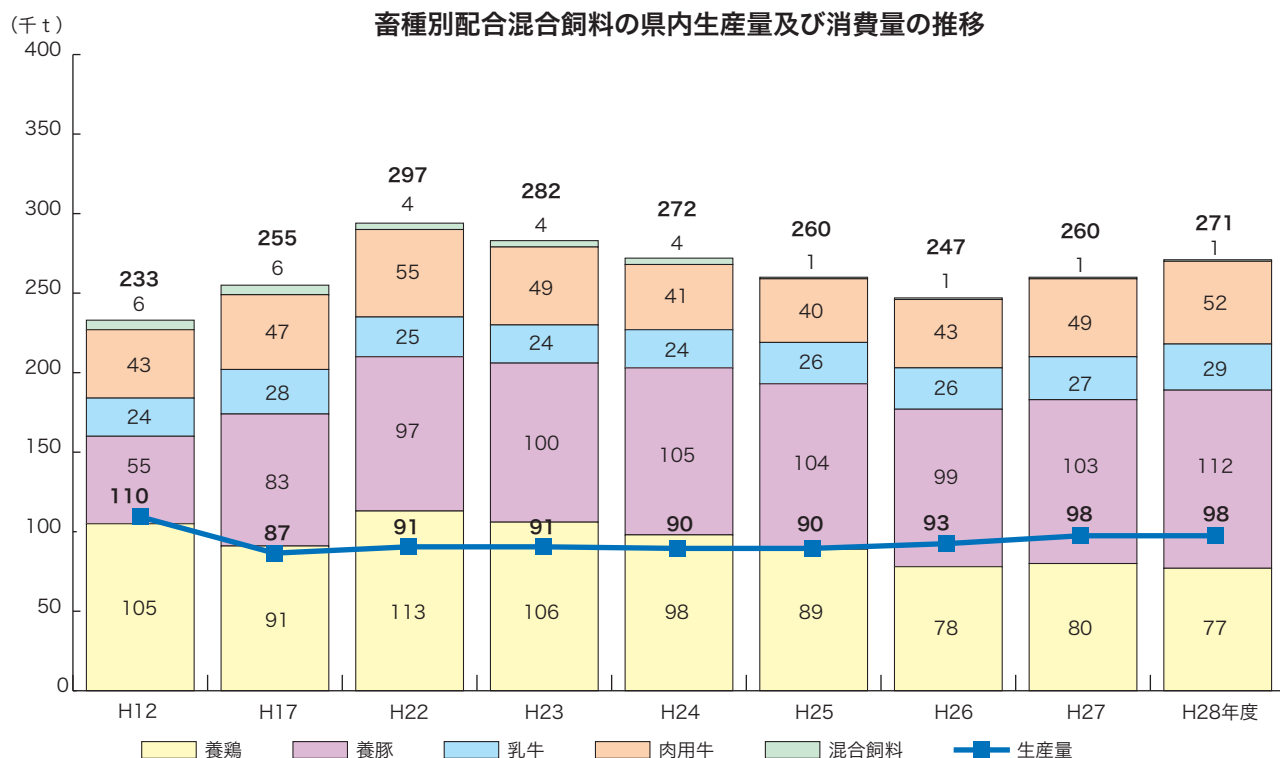
②飼料用米の作付状況

H20年より規模拡大が進み、H24、25年は減少したものの、水田活用の直接支払交付金によりH26年から拡大に転じ、H29年は1,512haと、前年に比べ32ha(2.2%)増加している。

③稲発酵粗飼料(WCS)作付状況

H29年の作付面積は2,447haで、前年に比べ23ha（0.9%）増加している。

2. 配合混合飼料



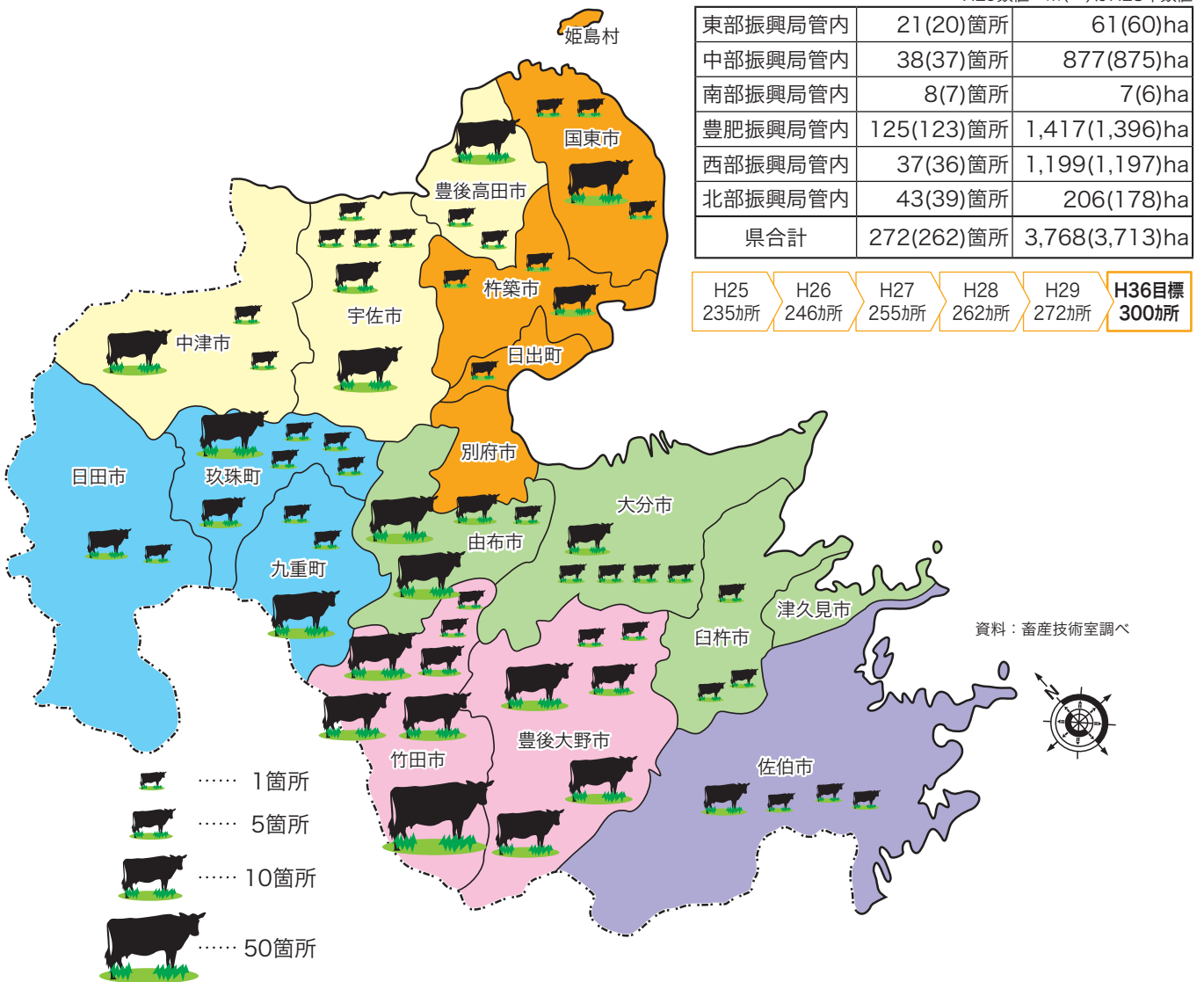
資料：飼料月報

(注) 混合飼料：行政や流通の上から、ある特定成分の補給又は輸入関税の免税措置を受けられることを目的に製造される配合飼料の一種。
 配合飼料：2種類以上の飼料原料を一定の割合で混合した物。我が国では一般に家畜・家きんの種類や飼料目的に応じて、必要な養分を十分含むように市販されているものが多い。
 四捨五入の関係で内訳の計は必ずしも総数に一致しない。

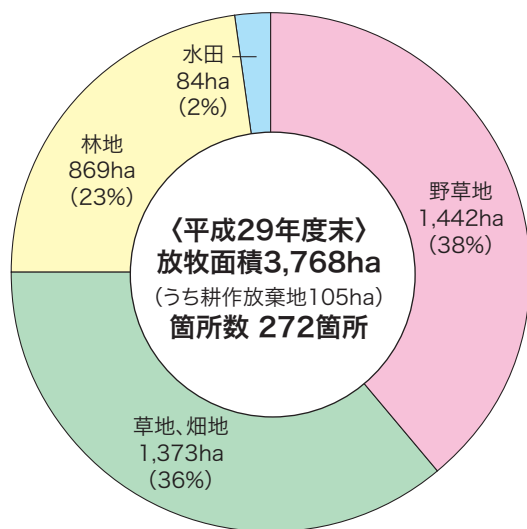
県内の全畜種における配合混合飼料の総消費量はH22年以降減少傾向であったが、H28年は271千t（前年比104.2%）と増加した。
 畜種別にみても、全ての畜種で増加している。
 また、配合混合飼料の県内生産量はH26年以降増加していたものの、H28年は前年比横ばいとなっている。

3. 放牧取組状況

(1) 大分県における「おおいた型放牧」分布図



(2) おおいた型放牧面積の地目別内訳



おおいた型放牧は耕作放棄地の解消や、繁殖雌牛の飼養管理の省力化を目的として、近年、導入地区が大きく増えている。特に耕作放棄地解消を目的に取り組む例が多く、地目別面積の内訳では野草地1,442ha (38%)と草地、畑地1,373ha (36%)で全体面積の約75%を占めている。



シバ型草地における親子周年放牧

IV 家畜衛生・畜産環境

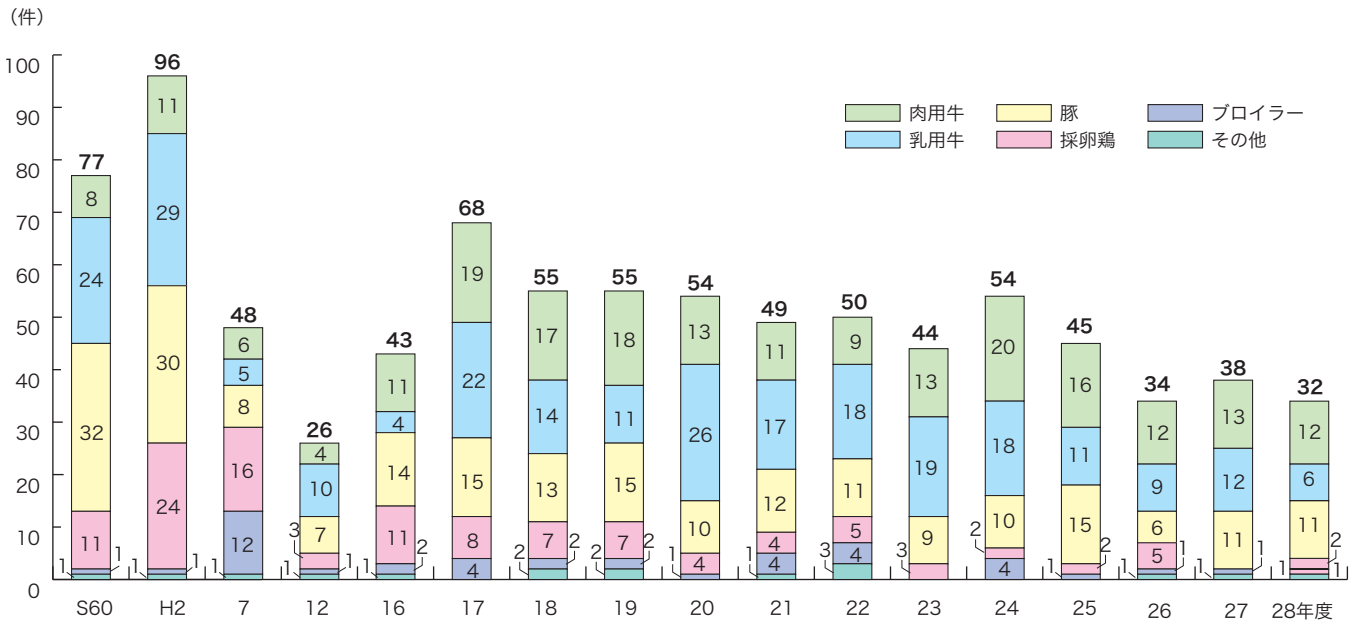
1. 監視伝染病の発生状況

区分	監視伝染病																																						
	法定伝染病										届出伝染病																												
	炭疽	結核病	ヨ―ネ病	性馬貧血	流行性脳炎	ツヌル病	ネラ感染症	家畜サルモネラ	高病原性鳥インフルエンザ	ふそ病	TSE	アカバネ病	鼻気管炎	牛伝染性	牛白血病	ルス感染症	アイノウイ	病イバラ	破傷風	気腫疽	ネオスポラ症	下痢粘膜炎	牛ウイルス性	キ―エス	胃腸炎	性下痢	豚丹毒	サルモネラ症	マレック病	気管性喉頭炎	ロイコチゾン	鶏痘	悪性カタル熱	レプトスピラ症	豚PRRS	豚赤痢			
牛・豚	牛	牛	馬	豚	鶏	鶏	鶏	鶏	豚	羊	牛	牛	牛	牛	牛	牛	牛	牛	牛	牛	牛	豚	豚	豚	豚	豚	豚	豚	豚	豚	豚	豚	豚	豚	豚				
S50				2		1,697			291										10																				
51				1		120			80																														
52																																							
53																																							
54																																							
55																										1,843													
56																																							
57	1																								4,011														
58						19,427			66																1,584		1												
59									3																		10												
60									113																		37												
61									29																		5												
62																	19	3									14												
63																											16												
H元						2,276													2								15												
2		1							10										3					36			18												
3																											12												
4																											14												
5																											12												
6																											12												
7																											12												
8																											11												
9				3													2									30	17												
10											11	1	17	2												6	6												
11											21		31	10					2							4	2	69	1,600										
12													19						8	1							2												
13				1									11						2								3												
14				1									24													42	110									1	2		
15				13									61												40	42	110												
16				8					7	1			3	53					1	1	1			150	127	48	2										1		
17				2									49													84	5	9											
18				10						1			71													102	3	6										4	
19				5							1		30													66													
20				5									38													90	9												
21				9							2		42													149	5									2	7		
22				6						1			44													136	2									1			
23				9				9		1			52													57	2												
24				4									30													43	7												
25				1									39													28		8											
26				5									25													9427	112	3											
27													31													450	242	1										2	
28				3				11					52													209	1	3											

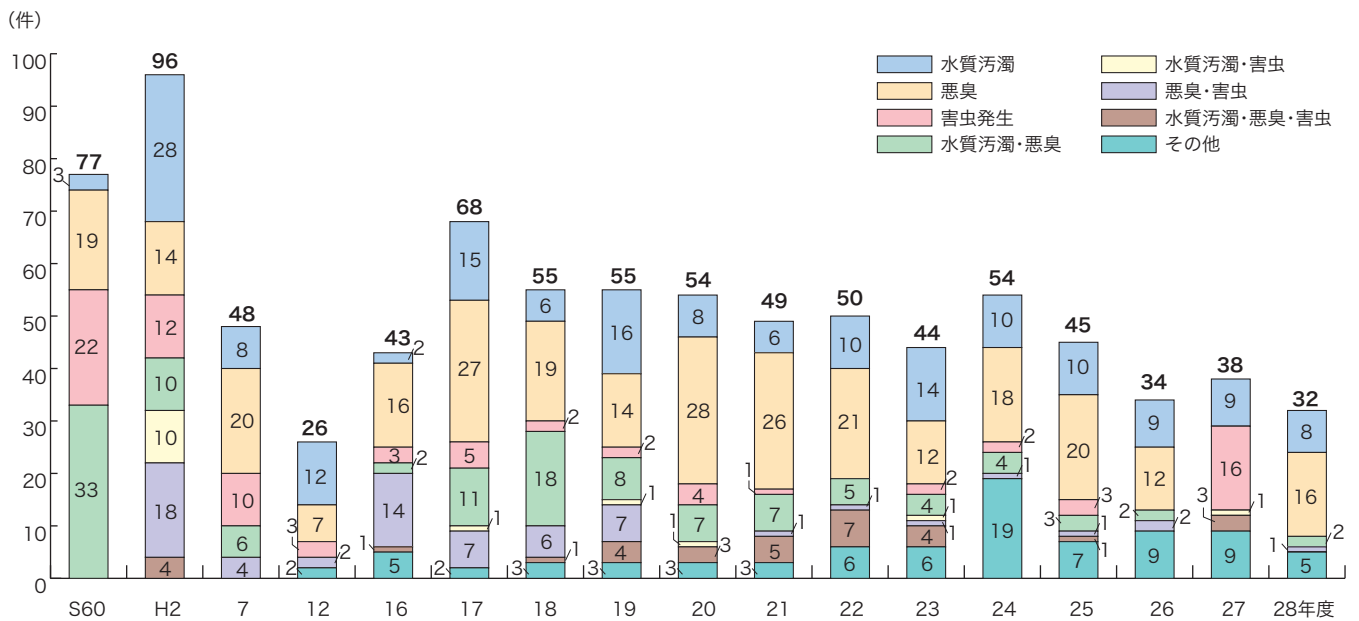
※印の疾病は平成9年度まで法定伝染病
資料：畜産振興課調べ

2. 環境汚染問題畜種別発生件数

(1) 畜種別苦情発生件数



(2) 種類別苦情発生件数



自衛隊も参加した集会所での受付訓練



実際に鶏を使用した捕鳥訓練

V 平成30年度大分県畜産関係補助事業等（抜粋）

当該ページでは、大分県畜産関係予算のうち主要なものを掲載・紹介しています。

全てのメニュー等を網羅しているものでも、採択基準の全てを示しているものでもありませんので、詳細等については各振興局農山（漁）村振興部企画・農政班(南部振興局にあっては企画・農政・集落班)又は、各担当班あてお問い合わせいただけるようお願いいたします。

1 畜産振興課関係補助事業等

品目	事業名	事業区分	採択基準・事業概要等	担当班
肉用牛	ICT活用スマート畜産体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 繁殖管理クラウドシステム運用事業 スマート畜産プロジェクト推進事業 	繁殖雌牛の分娩間隔の短縮による収益性向上を図るため、人工授精や妊娠鑑定の日など、個体毎の繁殖状態を畜産農家と関係機関が常時把握できるクラウドシステムの運用を支援する。	畜産企画班
肉用牛 養豚 養鶏	畜産物価格安定対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 肉用牛肥育経営安定対策事業 肉豚価格安定対策事業 鶏卵価格安定対策事業 	近年の飼料価格の高騰による収益性の低下や、畜産物価格等の動向により影響を受ける畜産経営の安定化に向け、また県民への安全・安心な県産畜産物の安定供給を図るため、畜産物の価格差補てん事業を実施する。	畜産企画班
肉用牛 酪農	畜産物流通促進対策事業	<ul style="list-style-type: none"> おおいた豊後牛流通促進対策事業 牛乳消費拡大推進事業 	全国和牛能力共進会での日本一受賞を好機と捉え、おおいた豊後牛の新たなリーディングブランドを創出しPR展開するとともに、牛乳の消費拡大を図るため、酪農体験教育等の取組に対し支援する。	流通推進班
養豚	県産豚「米の恵み」競争力強化対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 統一ブランド推進事業 養豚経営体質強化指導事業 	県内養豚農家の所得向上を図るため、オレイン酸に着目した新たな統一ブランドとして立ち上げた「米の恵み」の販促活動等に対して支援する。	流通推進班
養鶏	おおいた冠地どり流通拡大対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 販路拡大・知名度向上対策事業 	おおいた冠地どりの販路拡大を図るため、大手量販店等に対する販促活動を支援する。	流通推進班
養鶏	県産鶏肉鶏卵振興対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 採卵鶏生産性向上対策事業 県産鶏肉鶏卵消費拡大推進事業 	収益力向上を目標とした畜産クラスター計画に基づき、畜舎等の整備に対し助成するほか、県産鶏肉鶏卵の消費拡大とブランド力向上を図るため、各養鶏団体が実施する販路拡大対策等の取組を支援する。	畜産企画班 流通推進班
全般	畜産農場 HACCP 等認証取得推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 農場HACCP取得推進事業 JGAP・農場HACCP指導体制の強化等 	畜産農場における農場HACCPやJGAP家畜・畜産物認証取得を推進するとともに、農場HACCPと食品処理過程のHACCP管理方式を連動させた安全・安心な生産流通体制を整備することで他産地との差別化や輸出の拡大を図る。	衛生環境班
全般	獣医師確保対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 獣医師確保特別修学資金給付事業 獣医系大学インターンシップ事業 	家畜の疾病の予防・治療及び食の安全性確保を担う県公務員獣医師、産業動物獣医師等の確保が全国的に厳しくなっているなか、獣医師系大学に在籍する学生に対し就職勧誘活動を行うとともに修学資金を支給し、安定的に獣医師を確保する。	衛生環境班

2 畜産技術室関係補助事業等

品目	事業名	事業区分	採択基準・事業概要等	担当班
肉用牛	肉用牛競争力強化対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 肉用牛競争力強化施設整備事業 肉用牛生産施設整備事業 	収益力向上を目的とした畜産クラスター計画に基づき、法人が規模拡大を行う際の施設整備を支援するとともに、将来の中心的な役割を担う畜産経営体が行う規模拡大のための施設や省力化機器の整備を支援する。	生産振興班

2 畜産技術室関係補助事業等（前ページからの続き）

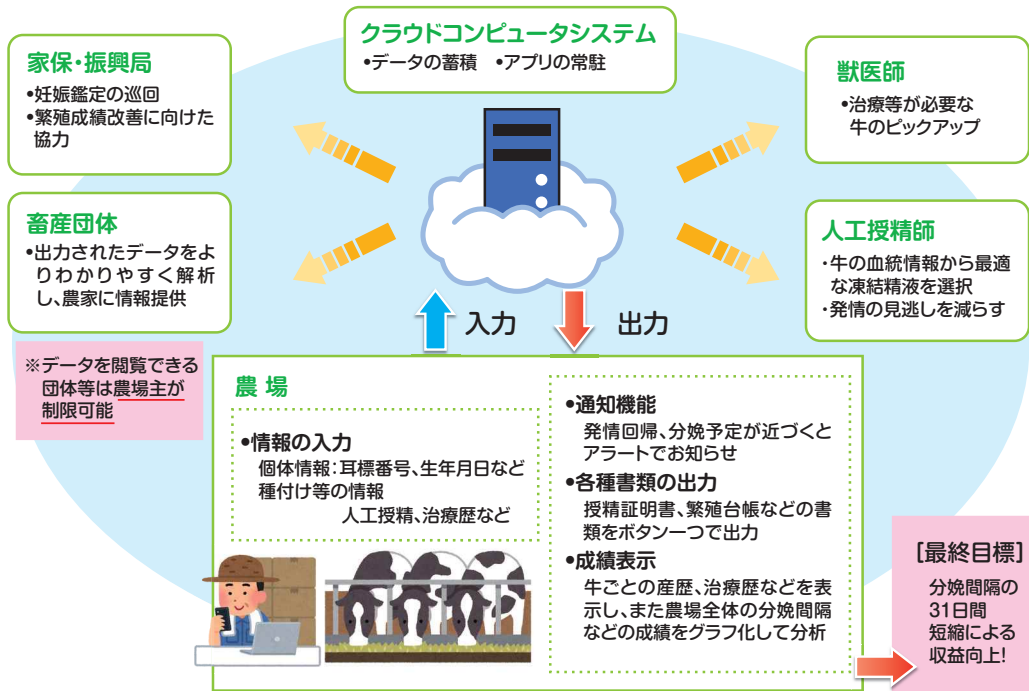
品目	事業名	事業区分	採択基準・事業概要等	担当班
肉用牛	肉用牛生産基盤拡大支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖雌牛増頭対策事業 ・子牛市場活性化対策事業 ・肥育牛預託資金貸付金 <ul style="list-style-type: none"> ①肥育素牛預託 ②飼育管理預託 	おおいた豊後牛の生産基盤を強化するため、繁殖・肥育農家の増頭対策を実施する。	生産振興班
肉用牛	NEW! 肉用牛繁殖経営体確保・働き方改革推進事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・肉用牛施設等整備支援対策事業 ・担い手作業外部化推進対策事業 ・作業外部化検討会の設置 	将来の基幹的肉用牛繁殖経営体の確保に向け、新規就農者が行う施設整備等を支援するとともに、作業外部化を推進する。	生産振興班
肉用牛	NEW! 第12回全国和牛能力共進会対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・肉牛区強化対策 ・県推進協議会準備委員会の設置 	平成34年に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会において優秀な成績を収めることができるよう、優れた出品牛の作出に取り組む。	生産振興班
肉用牛	スーパー豊後牛作出対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・優秀種雄牛造成対策事業 ・繁殖雌牛群整備事業 ・受精卵移植技術高度化事業 	産肉能力の優秀な豊後牛（スーパー種雄牛）を効率的に作出するため、受精卵移植技術や遺伝子解析等の新技術を活用し、産肉能力の早期判定法を開発することにより、種雄牛の選抜精度を高め、改良のスピードアップを図る。	生産振興班
酪農	酪農経営生産性向上対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・経営体質強化施設整備事業 ・後継牛能力向上対策事業 ・経営体育成対策事業 ・後継牛緊急確保特別対策事業 ・乳質向上指導対策事業 ・乳用優良雌牛貸付金 ・体外受精卵作出技術確立事業 	国際化の進展に対応可能な生産性の高い酪農経営体制を構築するため、後継牛の能力向上や規模拡大の取組を支援する。	酪農・飼料班
酪農	酪農基盤対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・酪農競争力強化施設整備事業 	地域内連携による酪農経営体の収益力向上を図るため、畜産クラスター計画に基づく畜舎等の整備を支援する。	酪農・飼料班
飼料	県内飼料利用拡大対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・放牧繁殖雌牛の再肥育技術確立事業 	消費者の赤身牛肉への嗜好の高まりに対応するため、赤身に適した放牧繁殖牛の再肥育技術確立に向けた実証試験を実施する。	酪農・飼料班
飼料	草地畜産基盤整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・草地畜産基盤整備事業 	担い手の経営を強化するとともに飼料生産基盤の整備を進め、自給飼料活用型の経営改善を支援する。	酪農・飼料班

（注）詳細等については、各振興局農山（漁）村振興部企画・農政班（南部振興局にあっては企画・農政・集落班）又は各担当班までお問い合わせいただけます。

3 畜産振興課及び畜産技術室関係予算等のうちピックアップ事項

ICT 活用スマート畜産体制整備事業

目的：肉用牛の繁殖管理を行うためのクラウドシステムを構築し、肉用牛農家における牛の繁殖状態等を見える化すること及び、畜産関係機関が同システムを活用し、年間の子牛出荷頭数の増加による農家所得の向上を図る。



名号	耳標	発情監視	妊娠待機	妊娠中
ゆりあの 88	1005		10♥ 136 ×1 48	
ふくとみの 8	1070	15♥ 121 ×1 27		
あややの 8	1143	7♥ 53 ×1 14		
ゆりあ 88	2059	14♥ 111 ×1 38		
ひまわり 8	2139			284 179
るみこ	2316		14♥ 130 ×1 42	

- ・繁殖管理 ・農場全体の繁殖状況を全体的なイメージで把握可能。
- ・状況画面 ・繁殖ステージが進むごとに、右に牛が移動。成牛と子牛をイラストで区別
- ・牛の中心には、分娩後の日数を示す。牛の左下は授精回数、右下は授精後日数、左上のハートマークは次回発情までの日数。
- ・各項目毎に昇降順表示可能(ソート機能)。
- ・発情予定までの日数、妊娠期間などは農場毎に設定可能。

その他の機能

- ・関係機関が農場データを分析可：事前に農場の許可必要
- ・帳票出力：入力されたデータからワンタッチで分娩届、授精証明書等を印刷
- ・カレンダー表示：次の作業の予定をカレンダーに表示し、アラート機能でお知らせ
- ・タイムライン表示：牛毎に出生からこれまでのイベント(分娩、治療歴など)を表示
- ・従業員間で情報共有：複数の端末で管理出来るので、情報の共有が可能

4 農林水産省施策の一部紹介

(施策名) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 (畜産クラスター事業)

(施策概要) 地域の関係者が連携し、一体となって、地域全体で収益性向上を図る畜産クラスターの趣旨を徹底、畜産・酪農の体質強化につなげるもの。

(事業メニュー)

(1) 実証支援事業

- ①概要 収益力向上を目的とした新たな取組の実証等を推進するため、実証に要する資材費や先進地調査等を支援。
- ②手続 国直接採択事業。事業主体(畜産クラスター)から農林水産省九州農政局長へ直接、申請。

(2) 施設整備事業

- ①概要 地域の収益性向上を目的とする畜産クラスター計画達成に向け、必要とされる畜舎等の施設整備及び補改修等を支援。
- ②手続 間接補助事業。事業主体(畜産クラスター)から市町村、県を通じて農林水産省へ申請。

(3) 機械導入事業

- ①概要 地域の収益性向上を目的とする畜産クラスター計画達成に向け、必要とされる機械等のリースを活用した導入等を支援。
- ②手続 (公社)中央畜産会を基金管理団体とし、計画について県のヒアリングを受けた上、畜産協会を通じ申請。

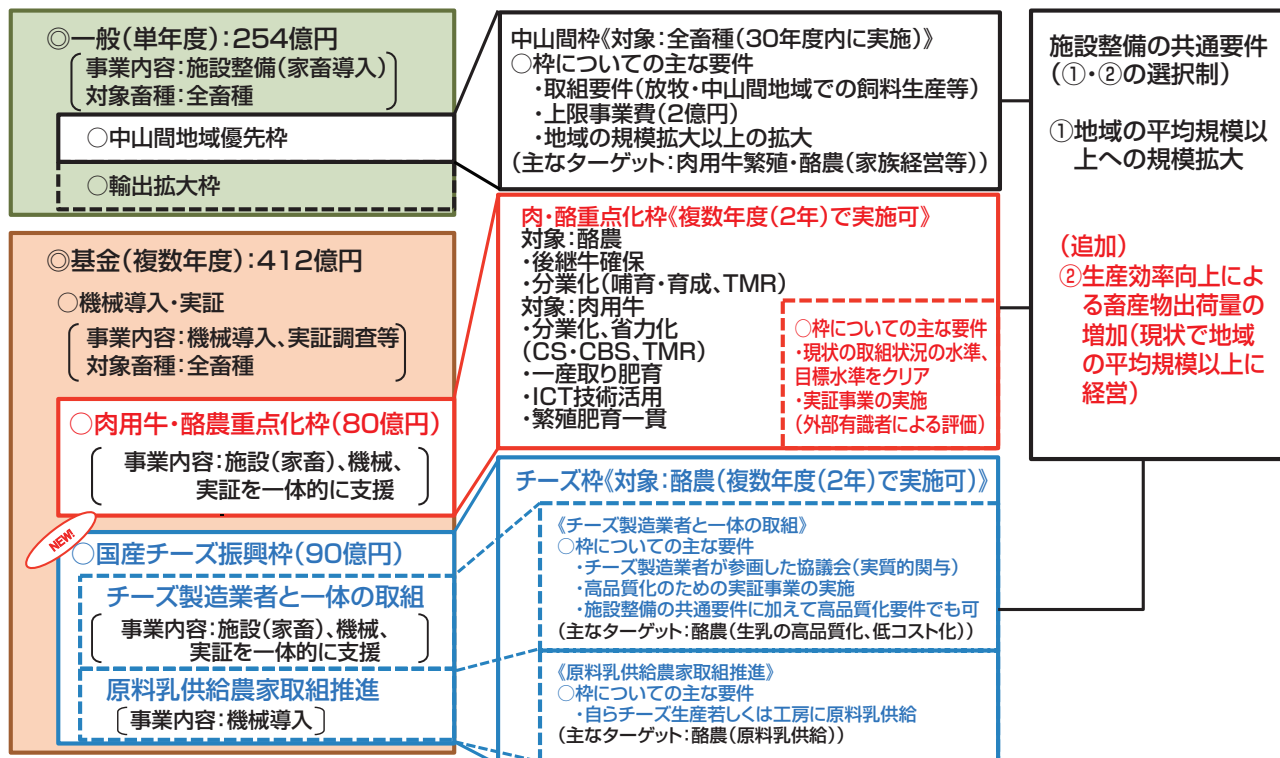
(4) 畜産・酪農生産力強化対策事業

- ①概要 地域の収益性向上を目的とする畜産クラスター計画達成に向けた性判別受精卵活用や発情発見装置導入等を支援。
- ②手続 (公社)中央畜産会を基金管理団体とし、県域団体等が申請。

(5) 畜産経営体質強化支援資金融通事業

- ①概要 意欲ある畜産農家の経営改善を支援するため、既往負債の償還負担を軽減する長期・低利(当初5年間は無利子)の一括借換資金を融通。
- ②貸付対象者 畜産クラスター計画における中心的な経営体又は認定農業者のうち、酪農、肉用牛又は養豚経営を営む者

○平成29年度補正予算の畜産クラスター事業の仕組み



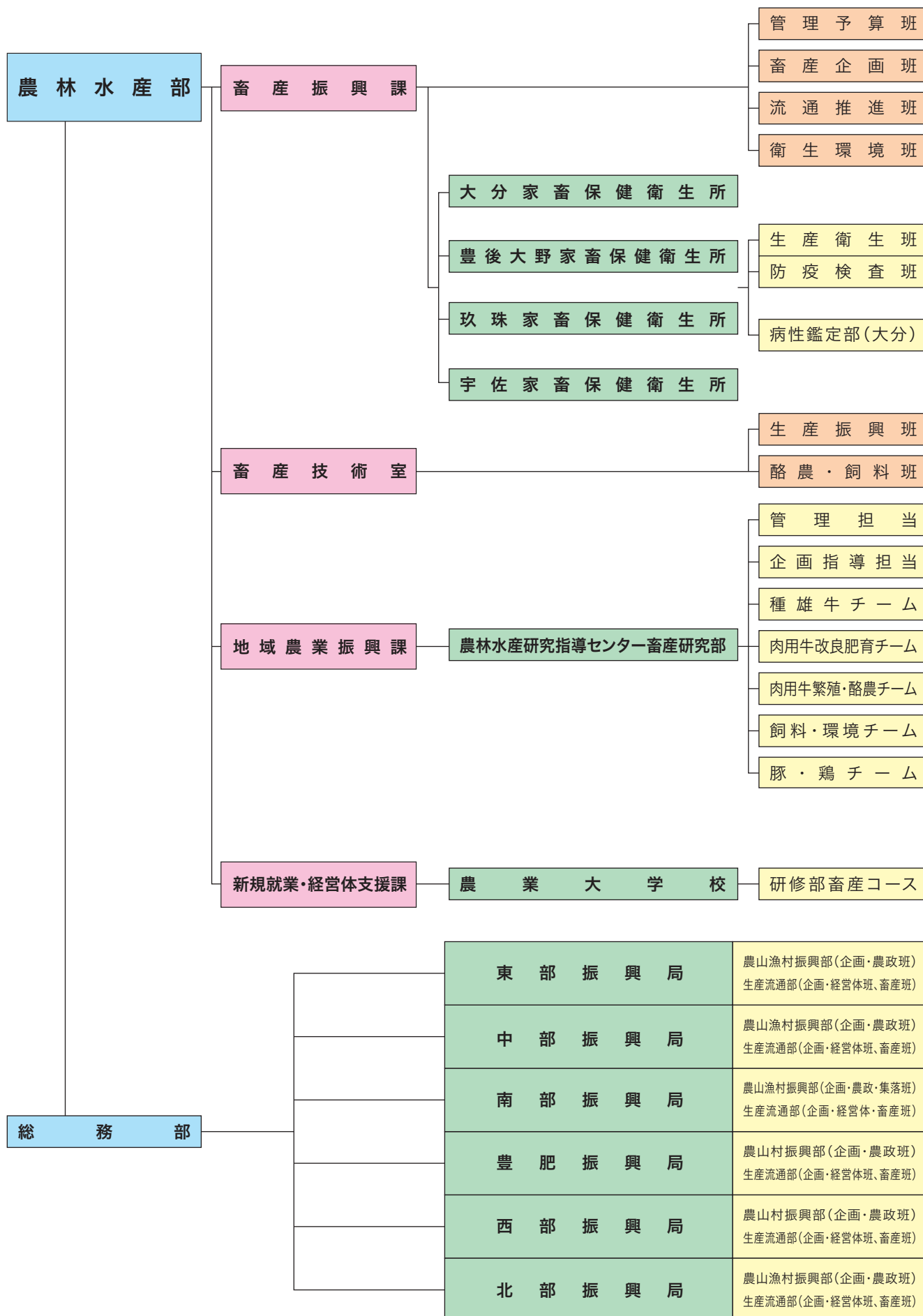
(資料 1)

畜産関係団体等一覧

名称	代表者	郵便番号	住 所	電話番号	FAX 番号
(公社)大分県畜産協会	会 長 近藤 和義	870-0844	大分市古国府 1220 (全農大分県本部別館2階)	097-545-6591	554-4049
大分県家畜人工授精師協会	会 長 植木 三雄	870-8501	大分市大手町 3-1-1 (県庁畜産振興課内)	097-506-3678	506-1762
大分県草地飼料協会	会 長 首藤 勝次	870-8501	大分市大手町 3-1-1 (県庁畜産技術室内)	097-506-3684	506-1762
(一社)大分県配合飼料価格 安定基金協会	理事長 佐藤 祐一郎	870-0025	大分市顕徳町 2-1-3 カ一サ阿部 203	097-534-2727	534-0991
大分県家畜商業協同組合	理事長 石田 和男	870-0044	大分市古国府 1220 (全国和牛登録協会大分支部内)	097-532-8577	532-8582
(公社)大分県獣医師会	会 長 麻生 哲	870-0901	大分市西新地 1-2-29	097-555-9527	555-9528
(株)大分県畜産公社	代表取締役社長 二宮 伊作	879-7305	豊後大野市犬飼町田原 1580-29	097-578-0290	578-0308
(有)大分県酪農振興公社	代表取締役社長 本川 一喜	870-1201	大分市廻栖野 3231 (大分県酪内)	097-586-4222	586-4226
(公社)全国和牛登録協会 大分県支部	支部長 近藤 和義	870-0844	大分市古国府 1220 (全農大分県本部別館2階)	097-574-8588	574-8258
大分県養豚協会	会 長 工藤 厚憲	870-0844	大分市古国府 1220 (大分県畜産協会内)	097-545-6593	554-4049
大分県養鶏協会	会 長 荒牧 洋一	870-0844	大分市古国府 1220 (大分県畜産協会内)	097-545-6593	554-4049
大分県養蜂組合	組合長 枝次 秀樹	879-5506	由布市挾間町挾間 604	097-583-3307	—
大分県食肉事業協同組合 連合会	会 長 清田 浩徳	870-1121	大分市鷲野 929-3	097-529-6544	529-6599
大分県農業協同組合中央会	会 長 二宮 伊作	870-0044	大分市舞鶴町 1-4-15 (大分県農業会館内)	097-538-6366	538-7125
大分県信用農業協同組合 連合会	会 長 船石 信和	870-0044	大分市舞鶴町 1-4-15 (大分県農業会館内)	097-538-6385	535-2746
全国農業協同組合連合会 大分県本部	本部長 長野 博文	870-0844	大分市古国府 1220	097-544-0046	545-9532
大分県農業共済組合	組合長理事 阿部 順治	870-0822	大分市大道町 3-1-1	097-544-8110	544-8242
大分県酪農業協同組合	代表理事組合長 清末 健一	870-1201	大分市廻栖野 3231	097-586-4222 (管理部)	586-4226
九州乳業株式会社	代表取締役社長 檜垣 周作	870-1201	大分市廻栖野 3231	097-586-4135	586-4136
(一社)大分県酪農ヘルパー協会	会 長 清末 健一	870-1201	大分市廻栖野 3231 (大分県酪内)	097-586-4225 (酪農部)	586-4226
大分県牛乳普及協会	会 長 清末 健一	870-1201	大分市廻栖野 3231 (大分県酪中央支所内)	097-586-4094	586-4095
(株)大分県酪食肉公社	代表取締役社長 安藤 康宣	870-0108	大分市大字三佐字新港 2405-2	097-521-4452	522-2743

(資料 2)

畜産関係機関県組織機構 (平成30年4月1日現在)



未来を拓く
豊後牛たち

種雄牛

豊後牛 
大分県産の黒毛和牛

期待の星たち

県外への精液譲渡致します
(桜花国、光花国を除く)

県外肥育農家より高い評価

平福安

寿恵福 - 安平 - 糸晴 (佐賀)

現場後代検定成績
BMSNo. 7.3
ロース芯面積 61.2 cm²
枝肉重量 479.9 kg



検定牛 (去勢)

BMSNo. 12
枝肉重量 593.2 kg
ロース芯面積 84 cm²

第11回
全共7区
3位

光星

光照福 - 平茂勝 - 福桜 (宮崎)

第10回全国和牛能力共進会
では第1区で首席を獲得。産
子は発育良好で表現型に優
れ、性格も温順である。現場
後代検定では、特に歩留基準
値に優れ、また、オレイン酸
値も平均58.1%と現在の
ニーズである肉量と食味に
優れる成績であった。交配は
糸桜系、気高系雌牛を推奨。



第10回全国和牛能力共進会
第1区 (若雄の区) 首席
農林水産大臣賞

寿恵高福

寿恵福 - 平茂勝 - 神高福

現場後代検定ではBMS
で大分県歴代3位。育種
価評価では脂肪交雑とロ
ース芯面積で高い評価を得
ている。平成26年広域後
代検定ではBMSでトッ
プの成績。気高系、但馬系
雌牛との交配を推奨。



H26
広域後代検定
BMS 1位

安森照

光平照 - 安平 - 隆桜

現在のBMS育種価は
2.82と県有種雄牛の中
で一番高く、現場後代検
定の枝肉重量では去勢で
497.9 kgと、資質系の「光
平照」産子ながら肉量も
期待できる。糸桜系、気高
系の大きな雌牛との交配
を推奨。



IARS 異常症
(-)

BMS
育種価
県1位

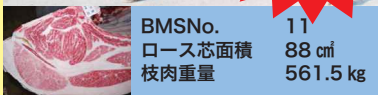
睦美幸

茂洋 - 寿恵福 - 神茂福

BMSに優れる「寿恵福」
を父に持つ「ゆたか2」に
「茂洋」を交配して造成し
た種雄牛で現場後代検定
ではBMSNo.8.1 ロ
ース芯面積 71.9 cm²、歩留
75.5%と良好な成績であ
る。気高系の大きな雌牛
との交配を推奨。



BMS
ロース芯、歩留
県1位

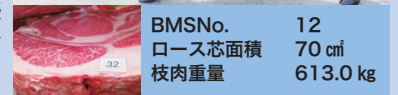


BMSNo. 11
ロース芯面積 88 cm²
枝肉重量 561.5 kg

桜花国

第1花国 - 紋次郎 - 糸福

「第1花国」と、「紋次郎」
を父にもつ「うえ299」
により造成された種雄牛。
現場後代検定では去
勢で枝肉重量・ロース芯
面積・脂肪交雑に特に優
れていた。気高系、但馬系
雌牛との交配を推奨。

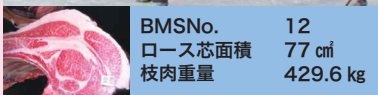


BMSNo. 12
ロース芯面積 70 cm²
枝肉重量 613.0 kg

豊之維新

安福勝 - 金幸 - 神高福

「安福165の9」を父と
する「安福勝」と「金幸」を
父とする母「さとみ」の受
精卵により造成された種
雄牛。現場後代検定では
特にBMSに優れ、モモ
抜けも良好。系統を選ば
ず交配可能。

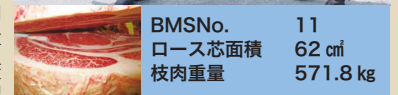


BMSNo. 12
ロース芯面積 77 cm²
枝肉重量 429.6 kg

光花国

第1花国 - 大船7 - 糸福

本県を代表する藤良系種
雄牛「大船7」を父に持つ
「たいせん23」に「第1
花国」を交配して造成し
た種雄牛。現場後代検定
では脂肪交雑と共に枝肉
重量、バラ厚に優れ質量
兼備な種雄牛である。県
下で多く飼養される気高
系雌牛との交配を推奨。



BMSNo. 11
ロース芯面積 62 cm²
枝肉重量 571.8 kg

(資料 4)

県内の主要なふれあい牧場

町田バーネット牧場

大分県玖珠郡九重町町田
TEL 0973-78-9446 FAX 0973-78-9449

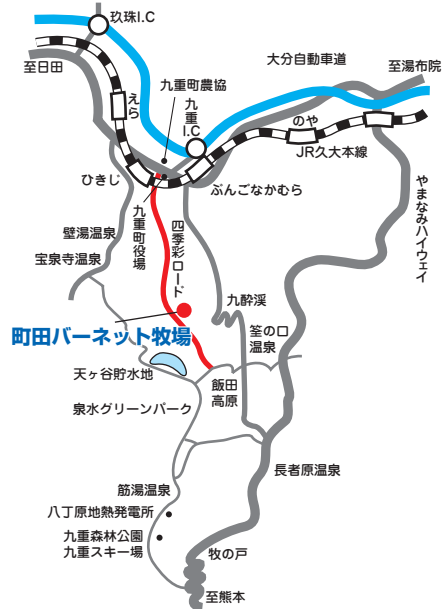
自然の景観が素晴らしい町田バーネット牧場は豊後牛をはじめいろいろな動物を飼育している。ポニー、ヤギ、ウサギ、地鶏に直接エサを与えたり、触ったり、動物とのふれあいを通して忘れかけた自然のすばらしさを満喫することができる。



○駐車場/300台 ○売店/有 ○営業時間/夏10:00~18:00 冬10:30~17:30 ○バーベキューハウス/有 ○休日・休館日(冬期) /第2・4火曜日 ○乗馬体験(有料) /5月連休・夏休みのイベント時

【アクセス】

- ◎電車 / JR久大本線豊後中村駅下車、車で15分
- ◎車 / 大分自動車道九重ICから15分



ガンジーファーム

大分県竹田市久住町大字久住4004-56
TEL0974-76-0760

久住山の山麓の高原には名前の由来にもなったガンジー乳牛が飼育されている。乳製品工場、レストランや資料館が点在し、自家製乳製品はおみやげにも最適。ふれあい牧場(羊、ヤギ等)、ポニーハウスも有る。



○駐車場/250台 ○売店/有 ○営業時間/9:00~17:00 ○レストラン/有 ○休日・休館日/無 ○ポニー乗馬体験/土・日・夏休み ○オリジナル牛乳・乳製品/牛乳、アイスクリーム、チーズ、ヨーグルト他

【アクセス】

- ◎電車 / JR豊肥本線豊後竹田駅下車、車で30分
- ◎車 / やまなみハイウェイ(九州横断道路) 瀬の本交差点から15分



みどりマザーランド

〒870-1203 大分県大分市大字廻栖野3231
TEL 097-586-4183 (九州乳業株) 平成12年4月開園

都市（大分市）に隣接した地域にあって、豊かな自然に恵まれた山と緑が織り成す雄大な景観に浸りながら、広大な芝地の中での遊観。複合的遊具等、変化に富んだ施設が整備され、四季を通じて広く住民の「交流の場」として利用されています。



○駐車場／300台(イベント開催時1,000台)大型バス10台(イベント開催時20台) ○ふれあい・研修施設／ふれあい牧場、ふれあい公園施設、研修施設ふれあい棟・見学コース(製造行程) ○入園時間／9:00～17:00

【アクセス】

◎車／大分市中心街より20分



(資料5)

平成29年農林水産部畜産振興課・畜産技術室の主な出来事（1～12月）

月 日	内 容
1月23日	耕畜連携研修会（別府市）
2月7日	大分県肉用牛改良組合連合会と大分県家畜人工授精師協会の共催で改良研修会を開催（別府パストラル）
2月9日	九州・沖縄ブロック家畜保健衛生業績発表会（沖縄県）
2月17日～21日	イオンモール京都で知事のトップセールスを実施（京都府京都市）
2月23日～26日	全国獣医師大会が開催される（石川県）
2月24日	三井隆則氏（宇佐市・酪農経営）が第48回農業賞（個人経営の部）で優秀賞を受賞
4月19日	全国家畜保健衛生業績発表会（東京都）
6月30日	おおいた豊後牛サポーターショップ1号店「焼肉ホルモン ブンゴ」オープン（大阪府堺市）
7月14日	第11回全国和牛能力共進会大分県最終予選会が開催され、県代表牛27頭が選抜される（豊後玖珠市場）
8月2日	第70回大分県肉牛枝肉共励会（大阪南港市場） 和牛の部で（有）グリーンストック八幡（玖珠町）、交雑牛の部で北崎敏文氏（豊後高田市）がそれぞれ最優秀賞を受賞
8月4日～5日	OBSサマーフェスタにて「おおいた豊後牛」をPR（若草公園）
8月25日～26日	鳥インフルエンザシンポジウムが開催される（茨城県）
9月2日～5日	イオン大日店大分フェアが開催される（大阪府）
9月7日～11日	第11回全国和牛能力共進会が開催される。（宮城県仙台市）大分県勢は第4区で日本一の内閣総理大臣賞を獲得し、出品牛全頭が優等賞に入賞するという好成績。
9月15日～	日本一おおいた豊後牛フェアを開催（トキハアクロス）
10月4日	大分県畜産共進会（肉牛の部）が開催される（大分県畜産公社） （株）浦田牧場（宇佐市）が農林水産省生産局長賞を、藤本信一氏（豊後高田市）が九州農政局長賞を受賞
10月8日	みどり牛乳サンクスデーイベント（大分銀行ドーム）
10月8日～9日	東京自由が丘 自由の女神祭りで県産豚「米の恵み」をPR（東京都）
10月14日	大分県畜産共進会（肉用牛の部）が開催される（別府公園文化ゾーン） 吉野純子氏（竹田市）が農林水産大臣賞を、宿利明美氏（玖珠町）が九州農政局長賞を受賞
10月14日～15日	大分県農林水産祭（農林業の部）において、畜産フェスタやスタンプラリー等のイベントを開催（別府公園）
10月18日	大分県特定家畜伝染病（HPAI）防疫演習を実施（杵築市）
10月21日	OBSラジオまつりでキャンペーンPRブース出店（トキハわさだタウン）

平成29年農林水産部畜産振興課・畜産技術室の主な出来事（1～12月）

月 日	内 容
10月25日	大分県畜産共進会（乳用牛の部）が開催される（みどりの王国） 重見宝弘氏（玖珠町）が農林水産大臣賞を、三井隆則氏（宇佐市）が九州農政局長賞を受賞
11月1日～31日	「おおいた豊後牛」取扱認定店において消費拡大キャンペーンを実施
11月17日	大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会を開催（大分県庁）
12月6日	第71回大分県肉牛枝肉共励会（大阪南港市場） 和牛の部で（有）ファゼンダ・グランデ（玖珠町）、交雑牛の部で（株）甲斐農産（宇佐市） がそれぞれ最優秀賞を受賞



大分県畜産共進会（肉牛の部）
（株）浦田牧場（宇佐市）が
農林水産省生産局長賞を受賞



大分県畜産共進会（肉用牛の部）
吉野純子氏（竹田市）が農林水産大臣賞を受賞



大分県畜産共進会（乳用牛の部）
重見宝弘氏（玖珠町）が農林水産大臣賞を受賞



平成29年9月7日から11日の5日間、夢メッセみやぎ（宮城県仙台市）をメイン会場に「第11回全国和牛能力共進会」が開催されました。全国39道府県から種牛330頭、肉牛183頭、計513頭が出品され、大分県からは種牛19頭、肉牛8頭が出品され、審査の結果全頭が優等賞入賞を果たしました。



特に第4区（系統雌牛群）に出品した豊肥和牛育種組合は、種牛の部において最高賞である内閣総理大臣賞を獲得しました。大分県全体では総合3位という成績でした。

- 大分の畜産2017
- 平成30年3月発行